

# 能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(平成29年度対象)

平成30年8月

能代市教育委員会

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

I 点検・評価の趣旨等	1
1 点検・評価の趣旨	
2 点検・評価の対象	
3 学識経験者の知見の活用	
4 報告書の作成	
II 点検・評価の結果	2
基本目標1 豊かな人間性を育む学校教育の推進	
① 主体的で創意ある教育活動の推進	2
② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導	6
③ 基礎学力の向上を図る学習指導	11
④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	14
⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備	17
基本目標2 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進	
① 学習の成果を地域に生かす取組の推進	23
② 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実	26
③ 学習を通した生きがいづくり、仲間づくりの支援	28
④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実	30
基本目標3 学校・家庭・地域・行政等が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進	
① 学校・家庭・地域の連携協力の推進	36
② 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援	45
③ 読書活動の推進	47
④ 地域活動に必要な学習機会の提供	49
⑤ 食育を通した健全な子どもの育成	51
基本目標4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興	
① 伝統芸能の継承	53
② 文化財保護事業の推進	55
③ 文化芸術の振興	59
基本目標5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進	
① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	63
② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	66
③ スポーツを活用した地域の活性化	69
④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	71
III 教育委員会の運営状況	74
(1) 教育委員会の開催状況	
(2) 教育委員の活動状況	

# I 点検・評価の趣旨等

## 1 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表します。

事業の点検・評価を実施することで、今後より効率的で効果的な事業の展開に資するものとします。

## 2 点検・評価の対象

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条で教育委員会の職務権限とされている事務のほか、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象としますが、実際の点検・評価にあたっては、「能代市教育等の振興に関する施策の大綱」に記載されている基本目標及び施策の方向性に沿って実施します。

## 3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められていることから、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から、意見をいただきます。

秋田大学教育文化学部長 佐藤修司 氏  
元能代第二中学校校長 佐藤敬顯 氏

## 4 報告書の作成

報告書の作成スケジュールは、次のとおりです。

- ①各課及び施設等において、所管事務の点検・評価案（点検・評価シート）を作成
- ②学識経験者から、点検・評価案について意見を聴取
- ③点検・評価案に学識経験者の意見を加えて、報告書として作成
- ④教育委員会8月定例会で、報告書について議決
- ⑤報告書を9月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表

## II 点検・評価の結果

【 学校教育課 】

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	① 主体的で創意ある教育活動の推進
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするために、各学校の主体的で創意ある教育活動の実施を推進します。
事業・取組名	1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 2 読書に親しむ態度と望ましい読書習慣の定着 3 ふるさと教育の趣旨を生かした教育活動の推進 4 宇宙・科学技術の学びの充実
目標値	1 学校関係者評価を実施し、すべての学校でその結果を公表します。 2 「不読率」を県平均より下回るようにします。 • 学校図書館の図書標準率 100%を目指します。 • 学校図書館の学習センターとしての機能向上を図ります。 3 ふるさと学習の成果を発表する小学生ふるさと学習交流会や中学生ふるさと会議を開催します。 4 子ども館を利用した体験的理科授業を行う小・中学校の増加を図ります。
前年度の意見と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校関係者評価での提言や意見をふまえた具体的な改善策の構築 ⇒ P D C A サイクルに即した教育活動が推進されるよう、各校に働きかけます。学校評価シート活用して、学校評議員会で説明や評価を行い、改善につなげよう努めています。</li> <li>■学校図書館の学習センターとしての機能 ⇒ 不読率 0 の冊子の中に、授業での学校図書館利用についての活用事例の項目を新たに設け、各校の取組の情報交換をします。</li> <li>■ふるさと教育、キャリア教育の充実 ⇒ 小学生ふるさと学習交流会や能代っ子中学生ふるさと会議では、発表者だけでなく全員が参加しているという意識を持てるように、内容を検討します。</li> </ul>
事務事業の実績	1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 「あきた型学校評価システム」により、学校関係者評価を実施し、市内 19 校すべての学校でその結果を公表することで、学校・家庭・地域が相互に連携することの重要性を指導した。 2 読書に親しむ態度と望ましい読書習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「能代市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 能代市読書交流パンフレット「能代っ子おすすめの一冊・心の一冊」を 10 月の読書週間に合わせて各校に配付し、読書交流のための掲示として活用するよう促した。</li> <li>• 各校の特色のある読書活動を共有し児童生徒の指導に生かすために、実践事例集「目指せ！不読率 0 」を発行した。</li> <li>• 県生涯学習課生涯学習・読書推進班、市立図書館、市生涯学習・スポーツ振興課と連携し、学校図書支援員及び図書館担当教諭の充実した研修機会の確保に努めた。</li> </ul> </li> <li>②学校図書館図書標準達成状況の改善               <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各校の学校図書館図書標準達成状況に応じた、図書整備費を措置した。</li> <li>• 年間 3 回、図書標準達成状況調査を行って状況を把握し、校長会、教頭会、</li> </ul> </li> </ul>

	<p>各研修会等で改善を図るよう説明した。</p> <p>③学習センターとしての機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に研修会を行い、学校図書館の学習センターとしての役割を確認し、各校の実践につながるようにした。</li> </ul> <p>3 ふるさと教育の趣旨を生かした教育活動の推進</p> <p>①10月に小学5年で「小学生ふるさと学習交流会」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表校3校の内容</li> </ul> <p>　　淳城南小「ふるさと能代の味自まん」 　　朴瀬小「白神ねぎの秘密」 　　浅内小「風車大研究！」</p> <p>②11月に中学2年全員で「能代っ子中学生ふるさと会議」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「魅力あるまち『能代』にするために」</li> <li>・発表校3校</li> </ul> <p>　　東雲中「『歴』を聴き、『現』を語り、『先』を見る」 　　能代南中「煌めけ！宇宙のまち能代」 　　能代一中「みんなを元気にする能代の夏祭り」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルディスカッション～未来に残したい「能代の宝」とは～</li> </ul> <p>③人々とのかかわりから学ぶ体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに学校支援ボランティアを募り、その後、各校ごとに学校支援ボランティアを活用した体験活動を行った。</li> </ul> <p>4 宇宙・科学技術の学びの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の要望に応えた内容で、プラネタリウムを活用した星空学習をし、子ども館を理科の学びの場として活用できるようにした。</li> <li>・「宇宙のまち のしろ」が浸透してきたことで、2階宇宙館のガイドを求める声が年々多くなってきた。</li> </ul>																		
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る																		
	<p>[説明]</p> <p>1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価すべての学校でその結果を公表した。</p> <p>2 読書に親しむ態度と望ましい読書習慣の定着</p> <p>① 不読率について</p> <p>29年度、小4、小5、小6、中2で県平均を下回る良い結果となった。</p> <p>【平成29年度県学習状況調査 質問紙結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>能代市</th> <th>県比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>1.7%</td> <td>-1.3p</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>1.6%</td> <td>-2.4p</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>2.2%</td> <td>-2.0p</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>8.9%</td> <td>+1.3p</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>7.7%</td> <td>-0.8p</td> </tr> </tbody> </table>	学年	能代市	県比較	小学4年	1.7%	-1.3p	小学5年	1.6%	-2.4p	小学6年	2.2%	-2.0p	中学1年	8.9%	+1.3p	中学2年	7.7%	-0.8p
学年	能代市	県比較																	
小学4年	1.7%	-1.3p																	
小学5年	1.6%	-2.4p																	
小学6年	2.2%	-2.0p																	
中学1年	8.9%	+1.3p																	
中学2年	7.7%	-0.8p																	

## ②学校図書標準の達成率について

予算の重点配分等により図書状況が安定してきている。小・中学校とともにすべての学校で100%を超えていている。

学 校	29 年度	28 年度
小学校平均	113.3%	109.8%
中学校平均	106.4%	102.3%

## ③学習センターとしての機能

### ア 小学校での事例

- ・国語の授業の中に並行読書を取り入れた。
- ・国語や社会の学習に関連した本を教室内や廊下に設置した。
- ・全校辞書引きコンクールを行った。

### イ 中学校での事例

- ・図書室で授業を行った。
- ・ビブリオバトル大会やブックトーク集会を行った。
- ・本の紹介のしおりやシート、ポップなどを、生徒の目に付きやすい場所に掲示した。

## 3 ふるさと教育の趣旨を生かした教育活動の推進

### ①小学生ふるさと学習交流会の感想

- ・子どもたちの一生懸命発表している姿、また、他校の子どもたちが一生懸命に質問する姿がすばらしいと思いました。子どもさんたちの発表を聞くことで、大人も能代について知ることができました。

### ②能代っ子中学生ふるさと会議の参観者の感想

- ・能代のよさを再確認し、そのよさを発信するという共通の視点で意見交換を行うことで、生徒一人一人の考えが広がる機会にもなっていたと感じました。今後生徒たちの提案の実現に向けて、どのような取組をしていくかと、今後の活動につなげていこうとする生徒たちの気持ちがすばらしかつたです。

### ③秋田県学習状況調査質問紙の結果より

#### 【地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う】

学年	能代市	県比較
小学4年	93.1%	+1.2p
小学5年	93.8%	+1.9p
小学6年	97.9%	+6.2p
中学1年	92.6%	+1.8p
中学2年	90.0%	+0.8p

すべての学年で肯定的な評価の割合が、90%台をこえている。

## 4 宇宙・科学技術の学びの充実

#### 【子ども館利用数】

学 校	29 年度	28 年度
小学校	14 校	15 校
中学校	0 校	6 校

課題及び 今後の取組の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） <p>[具体的な課題及び取組]</p>
	<p>2 読書に親しむ態度と望ましい読書習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の充実を図り、学校図書標準の達成率においてすべての学校で100%を維持することにより、児童生徒が本に親しむ環境の向上を図る。</li> <li>・学習センターとしての機能を高めるために、各校の取組について「パワーアップ！目指せ 不読率0」の冊子に、「授業での学校図書館の利用」の項目を設け、情報交換する。</li> </ul> <p>3 ふるさと教育の趣旨を生かした教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生ふるさと学習交流会、能代っ子中学生ふるさと会議は、参加者の感想から非常によい取組であると捉えることができる。今後も児童生徒、保護者のアンケートを実施してふるさと学習の成果を把握する。</li> <li>・今年度は、中学2年生全員参加による中学生ふるさと会議を初めて実施した。小・中学校を通して、一度は能代の児童生徒同士で考えを共有する経験をさせるために、次年度も継続する。</li> </ul> <p>4 宇宙・科学技術の学びの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルプラネタリウムの更新により、小学校理科だけでなく、中学校理科での授業活用を呼びかけていく。</li> </ul>
学識経験者 の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読書やふるさと教育に関連する部分では着実な成果が上がっており、引き続いて取り組みを進めていただきたい。</li> <li>○学校関係者評価については、全校で取り組むという目標が達成されたことから、評価結果の浸透度・周知度、結果の活用の方法や度合い、連携強化や学校改善・改革への効果の検証などへ、目標をレベルアップしていってほしい。</li> <li>○中学校での子ども館利用数が0校になっていることについて、改善をお願いしたい。</li> <li>●学校図書標準の達成率がすべての学校で100%を超えており、学校図書館の充実が図られている。「不読率0」を目指し、今後とも子どもたちが読書の楽しさを体感できるよう取り組んでほしい。</li> <li>●中学生ふるさと会議に2年生全員が参加できたことは、すばらしい試みと思う。参観者の感想にもあるように、生徒たちからの提案が、単なる発表で終わらないよう、実現に向けた取組みを期待したい。</li> <li>●子ども館を利用する学校が減少したが、デジタルプラネタリウムの更新を機に多くの学校が理科の授業等で活用できればと思う。</li> </ul>

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導
方針・目標	いじめや不登校等の生徒指導上の問題について、未然防止や早期発見等、適切な対応に努めます。
事業・取組名	1 生き方を探求し自立を促す指導 2 自己実現を支える生徒指導 3 健やかな心と体の育成 4 一人一人を生かす特別支援教育
目標値	1 「将来の夢や目標をもっている」と思う児童生徒の割合を80%以上にします。 2 不登校の出現率を1,000人当たり6.0人以下にします。 3 すべての学年において体力合計点を県平均以上にします。 4 すべての学校で、個別の指導計画に基づく実践をし、作成状況を100%にします。
前年度の意見と対応	<p>■いじめ、不登校、問題行動への対応について ⇒心の教室相談員や児童生徒支援アドバイザーの配置、「はまなす広場」や「風の子電話」の設置等、きめ細かな手立てで対応していきます。</p> <p>■Q-U検査について ⇒検査結果を活用し、中1ギャップの軽減やいじめ、不登校の未然防止に役立てていきます。</p> <p>■健やかな心と体の育成について ⇒小・中学校において、性に関する年間指導計画や学校保健計画に基づき、性教育授業や集会、薬物乱用防止教室等を実施し、指導の一層の充実に努めています。</p> <p>■将来の夢や目標をもった児童生徒の育成について ⇒特別活動や総合的な学習の時間における体験的な活動、道徳の時間の充実を図るなどして、ふるさと教育、キャリア教育の一層の推進に努めています。</p>
事業の実績	1 生き方を探求し自立を促す指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問（所長訪問随行、全学級訪問、教育長訪問、要請訪問）において、授業改善について具体的に指導助言した。</li> <li>・児童生徒の主体性を促すためのテーマ設定や、自己を見つめる時間の重要性について代案や事例を示し、具体的に指導助言した。</li> <li>・児童生徒の豊かな心の育成につながるよい取組については、教育情報紙「いいご」や「教育のしろ」に掲載し、共有化を図った。</li> </ul> 2 自己実現を支える生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 心の教室相談員の配置 (小学校：12校中5校に5人、中学校：7校中全校に5人〈兼務あり〉配置)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間に心の教室を訪れた人数（延べ人数） 14,314人、相談件数487件</li> <li>・相談員が関わった不登校児童生徒の総数 7人、内改善傾向 5人</li> <li>・いじめに関わる相談 0 件</li> </ul> </li> <li>② 適応指導教室「はまなす広場」の設置（不登校児童生徒への個別指導）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級者5人 週に1回～数回の登校等、回復傾向の見られた生徒2人</li> <li>・登校に向けて風の子電話との連携を強化</li> </ul> <p>③「風の子電話」の設置（電話や来所による教育相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間相談件数 電話15件、来所40件（不登校17件、生活習慣・態度6件、いじめや交友関係6件、その他（進路や転学等）26件）</li> <li>・学校や教育研究所、適応指導教室、他機関との連携</li> </ul> <p>④不登校保護者会の開催（不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第3木曜日19:00～21:00</li> <li>・保護者延べ48人参加。2人の生徒の改善（回復傾向）へ関わる</li> </ul> <p>⑤児童生徒支援アドバイザーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4～6月に全小・中学校を訪問しての児童生徒の実態把握といじめ・不登校対策への指導助言</li> <li>・「風の子電話」に寄せられた相談を把握するとともに、各学校における問題等に応じてすぐに学校を訪問し、連携して対策を考えた。</li> </ul> <p>⑥各小・中学校への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校対策事業についてのリーフレット等の保護者への配付と市ホームページへの掲載</li> <li>・各校におけるいじめ・不登校の現状や支援を要する児童生徒についての月例報告とそれに対する指導助言</li> <li>・市生徒指導主事会での児童生徒に関する情報交換やいじめ・不登校未然防止の取組の呼びかけ</li> <li>・楽しい学校生活を送るための調査（Q-U検査）の実施（小学校5・6年、中学校1・2年、年2回）と、分析に基づいた指導助言</li> <li>・心の教室相談員、教育相談員、スクールカウンセラーの校内の生徒指導研修会等への活用</li> </ul>
3	<h3>健やかな心と体の育成</h3> <p>①新体力テストの実施と分析</p> <p>実施後の結果を基に分析を行い、市教委報「ふいご」に掲載して各校に周知した。また、全学級訪問で各校の課題を確認し助言した。</p> <p>②「早寝・早起き・朝ご飯」の推進</p> <p>年間を通して、県教育委員会が掲げる「早寝・早起き・朝ご飯」を呼びかけたり、取組みの推進につながる情報を提供したりした。</p> <p>③性に関する指導計画の作成と取組の呼びかけ</p> <p>各校の性に関する指導計画を把握し、内容についての指導を行った。</p> <p>④薬物乱用防止教室開催の呼びかけ</p> <p>薬物乱用防止教室を学校保健計画に位置付け、すべての中学校において年一回は開催するとともに、地域の実情に応じて小学校においても開催に努めるよう呼びかけた。</p>
4	<h3>一人一人を生かす特別支援教育</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校で作成した「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」の提出してもらい、内容を確認した。</li> <li>・各学校への事務指導訪問において、個別の指導計画が、障害や児童生徒の実態等に応じたより具体的な指導計画となるよう依頼した。</li> </ul>

点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る																																																																																																																			
	<b>[説明]</b> 1 生き方を探求し自立を促す指導 <b>【将来の夢や目標をもっている P.5の表の再掲】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>能代市</th> <th>県比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>93.6%</td> <td>- 1.3p</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>95.1%</td> <td>+ 1.7p</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>95.4%</td> <td>+ 3.3p</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>88.8%</td> <td>+ 4.4p</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>82.6%</td> <td>+ 2.6p</td> </tr> </tbody> </table> <p>ほとんどの学年で県平均を上回っている。これは各校におけるキャリア教育の視点による学習や各種行事・集会の実施、また、心を育てる道徳の時間の実践等の確かな成果の表れと考えられる。中学2年生は、前年度の中学校1年生時に県平均を下回っていたが、個別指導や学習後の振り返りを大切にした指導・支援等の継続が成果となって、県平均を上回った。</p> <p>2 自己実現を支える生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめは、小学校146件、中学校50件が報告された(H28 小131件、中42件)。認知件数の増加は、「いじめ防止対策推進法」によって広義となつたいじめの定義が各校で周知され、いじめを積極的に認知した結果である。いじめの積極的な認知が早期発見、即時対応、早期解決につながると考える。</li> <li>不登校の出現率は7.2人(1000人当たり)で、国の13.5人、県の9.1人(H28)を下回った。</li> <li>全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがある」では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が小・中学校ともに80%を超えた。また、「人の役に立つ人間になりたい」では小・中学校ともに95%を超えており、児童生徒の自己肯定感、自己有用感の着実な高まりが見られた。引き続き、否定的な回答をしている児童生徒への相談活動等を通して、きめ細かい支援をしていくよう各校に指導していく。</li> </ul> <p>3 健やかな心と体の育成</p> <p><b>【平成29年度新体力テストの体力合計点平均の比較】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小1</th> <th colspan="2">小2</th> <th colspan="2">小3</th> <th colspan="2">小4</th> <th colspan="2">小5</th> <th colspan="2">小6</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>32.52</td> <td>33.24</td> <td>39.14</td> <td>40.68</td> <td>45.79</td> <td>47.86</td> <td>51.64</td> <td>53.79</td> <td>57.40</td> <td>59.65</td> <td>62.51</td> <td>64.29</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>32.20</td> <td>33.35</td> <td>39.62</td> <td>44.31</td> <td>47.29</td> <td>49.32</td> <td>53.41</td> <td>54.79</td> <td>59.04</td> <td>61.19</td> <td>62.96</td> <td>65.81</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>-0.32</td> <td>0.11</td> <td>0.48</td> <td>3.63</td> <td>1.50</td> <td>1.46</td> <td>1.77</td> <td>1.00</td> <td>1.64</td> <td>1.54</td> <td>0.45</td> <td>1.52</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">中1</th> <th colspan="2">中2</th> <th colspan="2">中3</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>36.60</td> <td>47.04</td> <td>45.04</td> <td>51.98</td> <td>52.29</td> <td>54.91</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>37.50</td> <td>47.41</td> <td>47.66</td> <td>53.78</td> <td>55.01</td> <td>59.89</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>0.90</td> <td>0.37</td> <td>2.62</td> <td>1.80</td> <td>2.72</td> <td>4.98</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【テスト項目】</b>握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、シャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール(ハンドボール)投げ、</p>	学年	能代市	県比較	小学4年	93.6%	- 1.3p	小学5年	95.1%	+ 1.7p	小学6年	95.4%	+ 3.3p	中学1年	88.8%	+ 4.4p	中学2年	82.6%	+ 2.6p		小1		小2		小3		小4		小5		小6		男子	女子	秋田県	32.52	33.24	39.14	40.68	45.79	47.86	51.64	53.79	57.40	59.65	62.51	64.29	能代市	32.20	33.35	39.62	44.31	47.29	49.32	53.41	54.79	59.04	61.19	62.96	65.81	比較	-0.32	0.11	0.48	3.63	1.50	1.46	1.77	1.00	1.64	1.54	0.45	1.52		中1		中2		中3		男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	36.60	47.04	45.04	51.98	52.29	54.91	能代市	37.50	47.41	47.66	53.78	55.01	59.89	比較	0.90	0.37	2.62	1.80	2.72										
学年	能代市	県比較																																																																																																																		
小学4年	93.6%	- 1.3p																																																																																																																		
小学5年	95.1%	+ 1.7p																																																																																																																		
小学6年	95.4%	+ 3.3p																																																																																																																		
中学1年	88.8%	+ 4.4p																																																																																																																		
中学2年	82.6%	+ 2.6p																																																																																																																		
	小1		小2		小3		小4		小5		小6																																																																																																									
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																								
秋田県	32.52	33.24	39.14	40.68	45.79	47.86	51.64	53.79	57.40	59.65	62.51	64.29																																																																																																								
能代市	32.20	33.35	39.62	44.31	47.29	49.32	53.41	54.79	59.04	61.19	62.96	65.81																																																																																																								
比較	-0.32	0.11	0.48	3.63	1.50	1.46	1.77	1.00	1.64	1.54	0.45	1.52																																																																																																								
	中1		中2		中3																																																																																																															
	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																														
秋田県	36.60	47.04	45.04	51.98	52.29	54.91																																																																																																														
能代市	37.50	47.41	47.66	53.78	55.01	59.89																																																																																																														
比較	0.90	0.37	2.62	1.80	2.72	4.98																																																																																																														

	<p style="text-align: center;">持久走（中学生のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テストの体力合計点については、小1男子（0.32点）が県平均をわずかに下回っているが、それ以外の学年男女は県平均を上回った。今後も「力強さ」など体力テストがねらう運動特性への共通理解と体つくり運動等の工夫を図るとともに、新体力テスト実施要項に示されている各種目の測定方法に基づいた適切な実施を行っていく。</li> <li>・薬物乱用防止教室は中学校7校すべてで実施した。小学校においても12校中9校で実施した。</li> </ul> <p>4 一人一人を生かす特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級在籍及び特別支援教育支援員配置の児童生徒全員について、「個別の指導計画」が作成されており、作成状況は100%であった。ただ、内容が前年度とほぼ同じものや、複数の児童生徒が同じ内容になっている指導計画もあるなど、障害や児童生徒の状態等に応じた指導内容・方法を工夫するよう各校に指導していく必要がある。</li> </ul>
課題及び 今後の取組の 方 向 性	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 生き方を探求し自立を促す指導</p> <p>「将来の夢や目標をもっている」の肯定的回答の数値が、小学校は90%を超えている。中学校においては80%台であるが、県平均を上回っている。引き続き、「能代っ子中学生ふるさと会議」等との関連を図った授業や道徳の時間、特別活動、総合的な学習時間等において、自己の将来について生徒同士で意見交流しながら考える時間を十分に確保し、キャリアプランニングの力を育っていく。</p> <p>2 自己実現を支える生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の変化に気が付く教師の観察眼を養うよう、校長会や教頭会で呼びかける。</li> <li>・「いじめ問題対策連絡協議会」を年2回開催して本市のいじめ問題の現状を把握し、学校・家庭・地域その他関係者が連携を図って対応する。また自己有用感を高め、すべての児童生徒の安全・安心な学校生活へ向けて、各校のいじめ防止基本方針の学校・家庭・地域での共有を推進し、「いじめは絶対に許さない。」という学校風土をつくる。</li> <li>・指導主事並びに児童生徒支援アドバイザーがすべての学校を訪問し、「いじめ・不登校防止研修会」を各校を会場にして、教職員の悉皆研修として実施し、学校と教育委員会が連携しながら取組を推進する。</li> <li>・小学校5年生から中学校2年生を対象にQ-U検査（「楽しい学校生活を送るためにアンケート」）を引き続き実施するが、中学校1年生は、ハイパーQ-U（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）を実施し、中一ギャップの軽減や不登校・いじめの未然防止、早期解決へ向けた早期発見と即時対応に生かす。</li> </ul> <p>3 健やかな心と体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校において新体力テストの結果を分析し、体育の授業を中心に、高めたい運動特性につながる運動を積極的に取り入れるよう指導する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>性に関する年間指導計画や学校保健計画の中に、性に関する学習活動や薬物防止乱用教室を位置付け、計画的に取り組んでいくよう指導する。</li> </ul> <p>4 一人一人を生かす特別支援教育      「個別の指導計画」について、前期の評価を確実に行い、後期の指導内容や方法を見直すことを、学校訪問や特別支援教育の研修会等で依頼する。また、指導計画について、1・2月の事務点検で確認する。</p>
学識経験者の意見	<p>○全般にきめ細やかな対応・対策が行われておらず、成果を上げていると思います。</p> <p>○いじめの発見件数は少ないことがいいわけではなく、きちんと発見できて、きちんと対応できているのかが大事になる。その点で、いじめの認知件数とともに、その中でどれだけ対応できたか、またどれだけ解決に至ったのかが問われる所以、その点を重視していただきたい。</p> <p>○不登校の子どもや保護者への支援は、民間のものも含めて、手厚く、悩みに寄り添えるように努めてほしい。学校生活が楽しいものになるよう、子どもの権利や夢、希望を中心にして学校づくりに引き続いて取り組むことを期待する。</p> <p>○個別の指導計画、個別の教育支援計画が、表面的、形式的なものにならないよう、教育委員会でも学校でも取り組みを強めていってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「将来の夢や目標をもっている」と思う児童生徒の割合が、どの学年でも目標値（80%以上）を超えており、各校におけるキャリア教育の視点での教育活動の成果と思う。</li> <li>●不登校の出現率は7.2人と目標値には届かなかった。今後とも不登校の未然防止に向け、児童生徒、保護者との具体的なかかわり方や関係機関との連携の在り方等について全教職員で共通理解を図ってほしい。</li> <li>●個別の指導計画は100%作成されていることであるが、作成のための作成では意味がない。何のために作成しているのかの認識を深め、内容の一層の充実を図ってほしい。</li> </ul>

## 【学校教育課】

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	③ 基礎学力の向上を図る学習指導
方針・目標	児童生徒に主体的な学習の場を保証し、学力の向上を図ります。
事業・取組名	1 基本的な学習習慣の確立 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 3 評価を生かした授業改善 4 ねらいに即したＩＣＴの効果的な活用
目標値	1 「学校がある日の勉強時間」（1時間以上勉強している児童生徒の割合）が県平均を上回るようにします。 2 学習意欲に関する評価が小学生で80%以上、中学生で60%以上、児童生徒同士の学び合いに関する評価が、小・中学校とも90%以上を目指します。 3 授業改善の取組事例を、教育情報紙で10授業以上紹介します。 4 ＩＣＴの効果的な活用方法の情報交換を行います。
前年度の意見と対応	<p>■児童生徒が主体的に取り組めるような授業づくり ⇒学校訪問の指導助言や情報紙等での紹介により、「秋田の探究型授業」の定着に努めています。</p> <p>■学力向上に向けた取組 ⇒学習状況調査等の分析を行って各学校や各学年の課題を把握し、経年比較も行いながら、その対策の工夫と徹底に努めています。</p>
事務事業の実績	1 基本的な学習習慣の確立 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、中堅教員研修会、研究主任会での情報交換及び指導助言等を実施した。  2 子どもが主体的に取り組める学習指導 ①県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言等を実施した。 ・個々の児童生徒の補充学習実施の促進を図った。 ・学校や教師の課題を明確にした授業改善の促進を図った。 ・授業改善のための研究主任のリーダーシップを促す支援をした。  ②研修機会（中堅教員研修会、講師等研修会、理科学力向上研修会、研究主任会等）の提供と各校の情報共有を行った。 ・中堅教員研修会では、「学びを深め、学ぶ意欲を高めるための教師の関わり方」についての研究を行い、教師としての力量を高めた。 ・能代市山本郡の講師を対象に、講師等研修会を2回（8月、1月）開催し、授業の学び合いの場面の在り方や話合いのさせ方について指導助言した。 ・全小学校の理科担当者を対象に「理科学力向上研修会」を開催し、理科の学習の進め方や指導方法の情報交換を行った。 ・各校の校内研究や学校の特色ある教育活動を紹介する紀要「教育課程の展開と実践『能代の教育』」を発行（2月）した。  3 評価を生かした授業改善 ・学校訪問（所長訪問随行、全学級訪問、教育長訪問、要請訪問）において、授業改善について具体的に指導助言した。 ・全学級訪問では、児童生徒の主体性を促すための課題設定や、話合い活動の在り方について代案や事例を示し、具体的に指導助言した。

	<p>・児童生徒の主体性が見えるよい取組については、教育情報紙「ふいご」や「教育のしろ」に掲載し、共有化を図った。</p> <p><b>4 ねらいに即した I C T の効果的な活用</b> 各種訪問等で参観した授業から、ねらいに即した I C T の効果的な活用の取組について、教育情報紙「ふいご」に掲載して共有化を図った。</p>																																																																		
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p><b>1 基本的な学習習慣の確立</b> 【学校がある日の勉強時間（1時間以上勉強している児童生徒の割合）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>能代市</th> <th>県との比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>44.2%</td> <td>+ 7.2p</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>62.4%</td> <td>+ 9.2p</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>64.7%</td> <td>+ 2.4p</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>69.7%</td> <td>- 3.5p</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>69.3%</td> <td>+ 1.1p</td> </tr> </tbody> </table> <p>中1は県平均を若干下回る結果であった。</p> <p><b>2 子どもが主体的に取り組める学習指導</b></p> <p>①学習意欲は「勉強が好きだ」の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>能代市</th> <th>目標値との比較</th> <th>県との比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>88.0%</td> <td>+ 8.0p</td> <td>+ 4.0p</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>88.9%</td> <td>+ 8.9p</td> <td>+ 7.8p</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>92.3%</td> <td>+12.3p</td> <td>+13.1p</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>74.7%</td> <td>+14.7p</td> <td>+ 9.9p</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>57.4%</td> <td>- 2.6p</td> <td>+ 2.3p</td> </tr> </tbody> </table> <p>小4から中1までは、目標値を上回った。中2は県平均を上回っているものの、目標値を下回った。</p> <p>②「ふだんの授業では、学校の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>能代市</th> <th>目標値との比較</th> <th>県との比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>95.3%</td> <td>+ 5.3p</td> <td>+ 3.6p</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>98.7%</td> <td>+ 8.7p</td> <td>+ 4.9p</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>99.2%</td> <td>+ 9.2p</td> <td>+ 3.0p</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>97.1%</td> <td>+ 7.1p</td> <td>+ 1.7p</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>95.6%</td> <td>+ 5.6p</td> <td>+ 0.1p</td> </tr> </tbody> </table> <p>すべての学年で目標値を上回った。授業者が子ども主体の授業を構築しようとしていることが伺える。</p>	学年	能代市	県との比較	小学4年	44.2%	+ 7.2p	小学5年	62.4%	+ 9.2p	小学6年	64.7%	+ 2.4p	中学1年	69.7%	- 3.5p	中学2年	69.3%	+ 1.1p	学年	能代市	目標値との比較	県との比較	小学4年	88.0%	+ 8.0p	+ 4.0p	小学5年	88.9%	+ 8.9p	+ 7.8p	小学6年	92.3%	+12.3p	+13.1p	中学1年	74.7%	+14.7p	+ 9.9p	中学2年	57.4%	- 2.6p	+ 2.3p	学年	能代市	目標値との比較	県との比較	小学4年	95.3%	+ 5.3p	+ 3.6p	小学5年	98.7%	+ 8.7p	+ 4.9p	小学6年	99.2%	+ 9.2p	+ 3.0p	中学1年	97.1%	+ 7.1p	+ 1.7p	中学2年	95.6%	+ 5.6p	+ 0.1p
学年	能代市	県との比較																																																																	
小学4年	44.2%	+ 7.2p																																																																	
小学5年	62.4%	+ 9.2p																																																																	
小学6年	64.7%	+ 2.4p																																																																	
中学1年	69.7%	- 3.5p																																																																	
中学2年	69.3%	+ 1.1p																																																																	
学年	能代市	目標値との比較	県との比較																																																																
小学4年	88.0%	+ 8.0p	+ 4.0p																																																																
小学5年	88.9%	+ 8.9p	+ 7.8p																																																																
小学6年	92.3%	+12.3p	+13.1p																																																																
中学1年	74.7%	+14.7p	+ 9.9p																																																																
中学2年	57.4%	- 2.6p	+ 2.3p																																																																
学年	能代市	目標値との比較	県との比較																																																																
小学4年	95.3%	+ 5.3p	+ 3.6p																																																																
小学5年	98.7%	+ 8.7p	+ 4.9p																																																																
小学6年	99.2%	+ 9.2p	+ 3.0p																																																																
中学1年	97.1%	+ 7.1p	+ 1.7p																																																																
中学2年	95.6%	+ 5.6p	+ 0.1p																																																																

	<p>3 評価を生かした授業改善</p> <p>次の授業例等を 12 授業紹介した。</p> <p>例①第五小（理科）：予想に貼られた一人一人のネームプレート、一人一実験等、子どもの考えを大切にして授業を組み立てていました。また、注射器を押したときの体積と手応えを関連させたり、空気のときと比較して考えさせたりと、問題解決の力を育てていることを感じました。</p> <p>例②能代南中（数学）：秋田の探究型授業のスタイルがしっかりと貫かれている授業でした。予想、見通しの場面では生徒から考えを引き出すための具体物の提示が素晴らしかったです。よく言われる「コンパクトでインパクト」のある導入により、課題解決へ向かう必要感が高まっていました。</p> <p>4 ねらいに即した I C T の効果的な活用</p> <p>実践例：東雲中（社会科）</p> <p>歴史の授業で、 I C T 機器を活用して資料を拡大掲示したり、部分削除等の加工をしたりして生徒の思考を促していた。視覚的な情報の充実は、生徒が見通しをもったり、ゴールをイメージしたりする上で大変有効な手立てであった。</p>
課題及び 今後の取組の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 基本的な学習習慣の確立については、学校訪問や情報誌等において、小・中が連携した学び方指導、家庭への啓発等を小・中学校に指導する。</p> <p>4 隔年で開催する情報教育研修会において、 I C T の効果的な活用をしている取組や活用状況等を発表したり紹介し合ったりして、情報を共有する。</p>
学識経験者の意見	<p>○学習指導の改善に向けて様々な取り組みが行われ、成果を上げている。</p> <p>○各学校・学年・学級などの状況に応じたきめ細かな支援を引き続きお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「学び合いに関する評価」では、すべての学年で目標値を上回った。日頃の授業において子ども同士の話し合いの場が確保され、子どもたちが話し合うことに慣れ親しんでいることが伺える。</li> <li>●授業改善に向けて中堅教員研修会、理科学力向上研修会、研究主任会、講師研修会等が計画的に設定されている。</li> <li>●教育情報誌「ふいご」や「教育のしろ」の発行を通して授業改善の取組事例を紹介するなど、指導力の維持・継承に取り組んでいる。</li> </ul>

【学校教育課】

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修
方針・目標	学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。
事業・取組名	1 学力向上のための研修 2 安全・安心な学校づくりのための研修 3 学びをより豊にするための研修
目標値	各研修会参加者の肯定的評価が、4段階評価で3.6以上となるようにします。
前年度の意見と対応	<p>■各種の研修会等の開催に加え、教育情報紙「ふいご」や「教育のしろ」などを介して、優れた実践に学ぶ機会をどんどん提供していってほしい。  ⇒市教委主催の研修会の内容や各校の実践等を、情報提供していきます。</p> <p>■秋田大学や秋田県立図書館と連携した研修会等を企画・運営することによって、より広く深い視点で、学校や市の取組について考えてみることができる。  ⇒今後も秋田大学や秋田県立図書館等と連携し、学校や市の取組の充実につながるような研修会の企画・運営に努めます。</p> <p>■今後とも、参加者が「参加してよかったです」と思えるような研修となるような企画・運営に努めたい。  ⇒新学習指導要領への移行等、教育課題に対応した取組や実践ができるように、研修内容や方法を工夫していきます。</p> <p>■心の教室相談員制度が、これまで以上に機能・充実するよう、活用のあり方等について、今一度検討したい。  ⇒相談員による研修会の充実を図るとともに、生徒指導における相談員と教職員との積極的な情報共有について各校に周知を図っていきます。</p>
事務事業の実績	<p>①職務別研修を実施した。</p> <p>ア 教務主任・研究主任の合同研修会（7、1月）  ミドルリーダーとして期待されることについての講義、情報交換  イ 研究主任会（11月）  秋田県総合教育センター指導主事による授業づくりの講話・演習  ウ 中堅教員研修会（6、8、1月）  1年間を通しての研究、県総合教育センターでの発表等  エ 特別支援教育担任等研修会（8月）  秋田大学准教授等を講師とした講義、情報交換  オ 中堅教員及びベテラン教員を対象に教員研修（8月）  豊島区への教員派遣</p> <p>②教職経験者研修を実施した。</p> <p>ア 初任者研修（8、1月）  1回目：指導主事による講義、道徳の授業における学び合いの工夫  2回目：指導主事による生徒指導に関する講話、プログラミング学習についての演習  イ 講師等研修（8、1月）  1回目：実践発表（模擬授業）「道徳授業の学び合いにおける指導の工夫」  2回目：指導主事による講話「生徒指導の重要性について」、演習「プログラミング学習について」</p> <p>③テーマ別研修を実施した。</p>

	<p>ア 読書活動推進研修会（5月）      イ モデルロケット研修会（5月）      ウ 理科学力向上研修会（6月）      エ 情報モラル・ネットトラブル研修会（8月）      オ 情報教育研修会（11月）      カ 東京都豊島区との教育連携を生かした研修（6月、11月）</p>																																																				
点検・評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田大学と連携した特別支援教育担任等研修会、秋田県立図書館と連携した読書活動推進研修会、秋田県教育庁高校教育課と連携した外国語活動授業研修会、秋田県教育委員会生涯学習課と連携した情報モラル・ネットトラブル研修会等を企画・運営し、学校や市の課題、新学習指導要領への移行等に応じた研修会を提供することができた。</li> <li>・新学習指導要領への対応として、外国語活動や道徳の教科化についての研修会を提供し、各校の取組に生かすことができた。</li> <li>・中堅教員に対しミドルリーダーとしての自覚を促し、実践知の継承を意図的に行うことについて、各校に問題提起をすることができた。</li> <li>・それぞれの研修会で4段階の事後アンケートを実施したところ、参加者から内容が実践的で分かりやすかったなどの評価を得ている。</li> </ul> <table> <tbody> <tr> <td>合同研修会(教務・研究)</td> <td>1回目</td> <td>実践 3.8</td> <td>内容 3.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2回目</td> <td>実践 3.9</td> <td>内容 3.9</td> </tr> <tr> <td>中堅教員研修会</td> <td></td> <td>実践 3.9</td> <td>内容 3.9</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育研修会（秋大連携）</td> <td></td> <td>実践 3.8</td> <td>内容 3.9</td> </tr> <tr> <td>初任者研修Ⅰ（講義 ワークショップ）</td> <td></td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 3.9</td> </tr> <tr> <td>初任者研修Ⅱ（視察研修）</td> <td></td> <td>実践 3.8</td> <td>内容 3.8</td> </tr> <tr> <td>講師等研修Ⅰ</td> <td></td> <td>実践 3.8</td> <td>内容 3.7</td> </tr> <tr> <td>講師等研修Ⅱ</td> <td></td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 4.0</td> </tr> <tr> <td>読書活動推進研修会</td> <td></td> <td>実践 3.9</td> <td>内容 3.9</td> </tr> <tr> <td>モデルロケット研修会</td> <td></td> <td>実践 4.0</td> <td>内容 3.8</td> </tr> <tr> <td>理科学力向上研修会</td> <td></td> <td>実践 3.9</td> <td>内容 3.9</td> </tr> <tr> <td>情報教育研修会</td> <td></td> <td>実践 3.7</td> <td>内容 3.8</td> </tr> <tr> <td>情報モラル・ネットトラブル研修会</td> <td></td> <td>実践 3.8</td> <td>内容 3.9</td> </tr> </tbody> </table>	合同研修会(教務・研究)	1回目	実践 3.8	内容 3.8		2回目	実践 3.9	内容 3.9	中堅教員研修会		実践 3.9	内容 3.9	特別支援教育研修会（秋大連携）		実践 3.8	内容 3.9	初任者研修Ⅰ（講義 ワークショップ）		実践 4.0	内容 3.9	初任者研修Ⅱ（視察研修）		実践 3.8	内容 3.8	講師等研修Ⅰ		実践 3.8	内容 3.7	講師等研修Ⅱ		実践 4.0	内容 4.0	読書活動推進研修会		実践 3.9	内容 3.9	モデルロケット研修会		実践 4.0	内容 3.8	理科学力向上研修会		実践 3.9	内容 3.9	情報教育研修会		実践 3.7	内容 3.8	情報モラル・ネットトラブル研修会		実践 3.8	内容 3.9
合同研修会(教務・研究)	1回目	実践 3.8	内容 3.8																																																		
	2回目	実践 3.9	内容 3.9																																																		
中堅教員研修会		実践 3.9	内容 3.9																																																		
特別支援教育研修会（秋大連携）		実践 3.8	内容 3.9																																																		
初任者研修Ⅰ（講義 ワークショップ）		実践 4.0	内容 3.9																																																		
初任者研修Ⅱ（視察研修）		実践 3.8	内容 3.8																																																		
講師等研修Ⅰ		実践 3.8	内容 3.7																																																		
講師等研修Ⅱ		実践 4.0	内容 4.0																																																		
読書活動推進研修会		実践 3.9	内容 3.9																																																		
モデルロケット研修会		実践 4.0	内容 3.8																																																		
理科学力向上研修会		実践 3.9	内容 3.9																																																		
情報教育研修会		実践 3.7	内容 3.8																																																		
情報モラル・ネットトラブル研修会		実践 3.8	内容 3.9																																																		
課題及び 今後の取組の 方 向 性	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ミドルリーダーを育成する研修の充実を図る。       <ul style="list-style-type: none"> <li>・市中堅教員研修会の実施</li> <li>・教務主任・研究主任合同研修会の内容充実</li> </ul> </li> <li>②教科の指導力向上に関する研修の充実を図る。       <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修、講師等研修における具体的な指導方法の提示</li> <li>・中堅教員のテーマ別研修の充実</li> </ul> </li> <li>③生徒指導の機能を指導に生かすための研修の充実を図る。       <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校を会場に教職員の悉皆研修とした「不登校・いじめ防止研修会」の実施</li> <li>・心の教室相談員による研修会の実施</li> </ul> </li> </ol>																																																				

	<p>④理科教育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども館の理科センター的機能を生かした事業の拡充</li> <li>・宇宙のまち「のしろ」を浸透するためのモデルロケット授業の実施</li> <li>・理科学力向上研修会の実施</li> </ul> <p>⑤特別支援教育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田大学との連携による研修会の実施</li> </ul> <p>⑥プログラミング教育に関する研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度、31年度の2年間で、全小学校を訪問して開催</li> </ul> <p>⑦教育連携を生かした研修を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都豊島区、茨城県坂東市、長野県箕輪町</li> </ul>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員研修についてもきめ細かな、様々な施策が行われていて、効果を上げている。</li> <li>○各学校で行われている校内研修を盛んにすること、校内研修と県・市による研修が相乗効果を持つようにすることに引き続き取り組んでいただけるようお願いしたい。</li> <li>○研修が、逆に教職員の負担を増やすことのないように精選かつ充実を図ってほしい。</li> <li>○教員の働き方改革や、チーム学校の取り組みがどの程度なされているのか、検証する項目があつてもいいかと思う。</li> <li>●職務別研修、教職経験者研修、テーマ別研修が秋田大学や秋田県立図書館等と連携しながら計画的・継続的に実施されている。今後とも実効性のある研修となるよう、研修内容や研修形態の工夫改善に努めてほしい。</li> <li>●各研修会参加者の肯定的評価が実践面、内容面とも目標値を上回った。今後とも参加者が「知りたい・学びたい」と思っている知的欲求に応えることができるような研修会の企画・運営を目指してほしい。</li> <li>●東京都豊島区との教育連携は、年度を重ねるごとに多くの成果を上げていることと思う。今後は取組がマンネリ化しないよう、実践内容の検証や連携に係る教員の意識の高揚を図ってほしい。</li> </ul>

【 学校教育課 】

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備
方針・目標	<p>1 子どもたちの安全を守るための能力の育成や学校安全の徹底を推進します。</p> <p>2 学校施設・設備の計画的な整備や小規模小学校の在り方の検討などに取り組みます。</p> <p>3 経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者等に対する支援を一層充実させ、子どもたちが安全・安心に過ごせる良好な教育環境をつくります。</p>
事業・取組名	<p>1 いじめ等の課題の対応</p> <p>2 学校安全の推進</p> <p>3 防災教育の推進</p> <p>4 小規模小学校の在り方についての検討</p> <p>5 就学援助の周知徹底や、奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業の利用促進</p>
目標値	<p>1 いじめ等の課題の解決を図るために、関係機関との連携を図ります。</p> <p>2 学校生活における児童生徒の事故発生ゼロを目指します。</p> <p>3 すべての学校で、地域や家庭と連携した防災訓練を実施します。</p> <p>4 小規模小学校の在り方については、地域との合意形成を図ることができるよう慎重に進めます。</p> <p>5 就学援助、奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業の周知を徹底し、さらなる利用の促進を図ります。</p>
前年度の意見と対応	<p>■防災訓練での保護者・地域住民との連携について  ⇒市内小・中学校 19 校すべてにおいて地震や津波を想定した避難訓練を実施し、保護者や地域住民の参加を促します。併せて、北朝鮮弾道ミサイル発射を想定した避難訓練の実施も呼びかけていきます。</p> <p>■学校統廃合については引き続き地域の声を聞きながら、慎重に進めていただきたい。「将来ある子どもたちのために何が必要か」に立ち返りながら、保護者や地域住民が不安に思っていることについて、丁寧に対応し合意形成を図りたい。  ⇒引き続き、保護者や地域住民との合意形成を丁寧に進めてまいります。</p> <p>■奨学金事業を活用しながら、地域に貴重な人材が戻ってくるように努めていただきたい。  ⇒新たに奨学金返還助成制度を検討します。</p> <p>■奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業については、引き続き事業の周知に努め、利用推進を図りたい。  ⇒市広報や新聞等で事業を周知し、利用促進を図っていきます。</p>
事務事業の実績	<p>1 いじめ等の課題の解決を図るための関係機関との連携強化</p> <p>① 心の教室相談員の配置  小学校12校中5校に5名（兼務なし）、中学校7校中全校に5名（2名が2校ずつ兼務）配置した。</p> <p>②適応指導教室「はまなす広場」の設置（不登校児童生徒の個別指導）  登校に向け、「風の子電話」との連携を強化した。</p> <p>③「風の子電話」の設置（電話や来所による教育相談）  学校や教育研究所、適応指導教室等、他機関との連携を図った。</p> <p>④児童生徒支援アドバイザーの活用</p>

	<p>「風の子電話」に寄せられた相談を把握するとともに、各学校における問題等に応じてすぐに学校を訪問し、連携して対策を考えた。</p> <p><b>2 学校安全の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①教育活動における安全指導 学校訪問等で学校安全に関する指導助言を行った。</li> <li>②各学校の実態に応じた安全点検等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携して通学路点検と協議を行い、通学路の改善を図った。</li> <li>・スクールガード・リーダー養成研修会を開催し、研修を深めた。</li> </ul> </li> <li>③学校給食における食の安全の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育デー（毎月 19 日）に地場産物を多く使用した献立を提供した。</li> <li>・アレルギーの児童生徒を把握し、代替給食を提供した。</li> <li>・異物等が給食に入り込まないよう、衛生管理面の徹底を図った。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>3 防災教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「県民防災意識高揚強調週間」における避難訓練・防災訓練の実施の呼びかけ 学校・家庭・地域が一丸となった避難訓練や防災訓練の取組、地域防災委員会の開催を促した。</li> <li>②「防災リーフレット」による学校・家庭への啓発 児童生徒、各家庭に「防災リーフレット」を配付して、各校での防災学習における活用への呼びかけと家庭での啓発を図った。</li> </ul> <p><b>4 小規模小学校の在り方についての検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①第3回地域懇談会及びPTA役員等との話合いの開催 朴瀬小、竹生小、崇徳小、鶴形小、常盤小を対象として第3回地域懇談会を開催したほか、5校のPTA会長等の役員と校長、教育委員会の話合いも3回開催し、統合に向けての意見を伺った。</li> <li>②統合年度の決定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の能代市教育委員会定例会にて、崇徳小学校及び鶴形小学校については、平成31年4月1日に第五小学校へ、朴瀬小学校、竹生小学校及び常盤小学校については、2020年4月1日に向能代小学校へ統合することとした。</li> <li>・9月に常盤中学校の将来を考える会より、能代市立常盤中学校の統合に関する陳情書が提出され、11月の能代市教育委員会定例会にて、常盤中学校は平成31年4月に東雲中学校へ統合することとした。</li> </ul> </li> <li>③常盤中学校保護者説明会及び統合準備委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常盤中学校保護者を対象に説明会を開催し、統合に至った経緯を説明し統合に向けての意見を伺った。</li> <li>・統合先校に統合準備委員会を設置し、小学校で2回、中学校で1回開催し、スクールバスや児童生徒交流などについて具体的に検討した。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>5 就学援助、奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業の利用推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①就学援助…30年3月末で要保護 52 人、準要保護 715 人、認定割合は 22.2% で、県内でも高い水準となっている。</li> <li>②奨学金貸付事業…採用者 29 年度 6 人 (28 年度 4 人)</li> <li>③ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業…採用者 29 年度 19 人 (28 年度 11 人)</li> </ul>
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る

	<p>[説明]</p> <p>1 いじめ等の課題の解決を図るための関係機関との連携強化 それぞれの立場からいじめ等の課題解決に取り組み、連携を図ることで情報の共有やケース会議等、即時対応が行われた。</p> <p>2 学校安全の推進 関係機関と連携し、通学路の安全点検を合同で実施し、専門家の視点から児童生徒の安全面を考慮した改善を進めることができた。（平成29年度：各校からの点検・改善要望29箇所。対策済み24箇所、対策予定1箇所、対策検討・未定4箇所）</p> <p>3 防災教育の推進 ・県民防災意識高揚強調週間の期間中、市内の小・中学校19校のすべてが地震・津波を想定した避難訓練を実施した。 ・保護者・地域住民と連携しながら避難訓練を実施した学校は11校、地域防災委員会は14校で実施した。 ・北朝鮮弾道ミサイル発射を想定した避難訓練を小学校12校中9校、中学校7校全てで実施した。</p> <p>4 小規模小学校の在り方についての検討 子どもたちの教育環境を最優先に円滑な統合に向けて、地域懇談会のほか、PTA役員や校長との話合いも設定して丁寧に進めたことにより、32年度までに6校の統合が決定した。統合準備委員会の開催など、統合に向けた具体的な準備も進めることができた。</p> <p>5 就学援助、奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業の利用推進 ①就学援助 …認定割合は22%前後で推移している。 ②奨学金貸付事業…応募者が減少傾向にある。 ③ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業 …応募者が減少傾向にある。</p>
課題及び今後の取組の方針	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 いじめ等の課題の解決を図るための関係機関との連携強化 いじめ等の未然防止、早期発見、即時対応、早期解決ができるよう、各関係機関との連携強化を図っていく。</p> <p>2 学校安全の推進 学校、地域、保護者、関係機関との連携を密にし、多くの目で児童生徒を見守る体制づくりを推進し、事故防止に努めていく。</p> <p>3 防災教育の推進 防災マニュアルを活用し、取組のPDCAサイクルによって防災教育を推進していくよう各校に周知していく。また、地域防災委員会の働きを生かし、地域の実態把握を行いながら防災計画を見直していくよう働きかける。</p> <p>4 小規模小学校の在り方についての検討 統合準備委員会を開催し、閉校記念式典の開催、スクールバスの運行、児童生徒交流など、具体的な話合いを進めていく。特に、30年度に閉校となる崇徳小学校、鶴形小学校、常盤中学校とは連絡・調整を密にする。</p> <p>5 就学援助、奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業の利用推進</p>

	<p>①就学援助…引き続き、利用推進を図る。</p> <p>②奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金事業…</p> <p>利用推進に向けて取り組むと同時に、今後のあり方について検討を行う。</p>
学識経験者の意見	<p>○近年、地震、津波ばかりでなく、水害も激しくなってきていることから、全般にわたって、学校安全、防災教育に対する取り組みを強めるようにお願いしたい。</p> <p>○人口減少、児童生徒数の減少に伴い、統廃合は避けがたいが、少しでも子どもの教育・学習環境の改善が実現できるようにしてほしい。また、学校が近くからなくなったり地域の活力が低下しないよう、統合先の学校との関係を少しでも強くするように取り組んでほしい。</p> <p>○就学援助、奨学金等については、地域の福祉や労働・産業と密接に関わることであり、関係機関と連携して、子どもたちの生活状況の改善、将来の幸福の実現に取り組んでほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●関係機関と合同で通学路の安全点検を実施し、各校からの改善要望のほとんどの箇所に対策が講じられるなど、学校安全の推進が図られている。</li> <li>●学校の統廃合については、将来ある子どもたちの教育環境を最優先に考え、保護者や地域住民との合意形成を図るべく丁寧な対応がなされた。今後は統合準備委員会において、対象となる児童生徒が新しい教育環境にスムーズに受け込めるためにはの視点で、具体的な準備を進めてほしい。</li> <li>●学校給食においては、今後とも可能な限り地場産物を多く使用した献立の提供に努めてほしい。食物アレルギーの児童生徒に対しては、全教職員でマニュアルの理解に努め、適切に対応してほしい。</li> </ul>

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備
方針・目標	学校施設・設備の計画的な整備や小規模小学校の在り方の検討などに取り組みます。
事業・取組名	1 学校施設の耐震化の推進 2 学校施設の老朽化対策等の推進
目標値	1 耐震改修工事は、30年度までにすべての学校で実施します。 2 老朽化対策については、能代市公共施設等総合管理計画を踏まえた整備計画を策定し、順次実施することとしますが、安全・安心に重大な影響が見込まれるものについては、早期対応を図ります。
前年度の意見と対応	<p>■耐震化、老朽化への対策は、学校統廃合等の計画とも関わってくるため難しい側面があるが、地域の理解を得ることと、財政上の負担を軽減することの両面を調整して進めていただきたい。 ⇒計画的に整備を進めます。</p> <p>■耐震改修工事については、国の追加事業の前倒しも検討して工事を進めてほしい。 ⇒非構造部材の耐震改修を進めます。</p> <p>■洋式トイレや空調設備については、年次計画に基づいて整備を進めてほしい。 ⇒洋式トイレについては、引き続き計画的に改修を進めます。空調設備については、各小・中学校の保健室にエアコンを設置する予定です。</p>
事務事業の実績	<p>1 学校施設の耐震化の推進 非構造部材耐震改修工事（体育館の照明器具、バスケットゴール等） …第五小、向能代小、崇徳小、能代東中 【30年度予定分を前倒し】浅内小（29年度補正、30年度へ繰越）</p> <p>2 学校施設の老朽化対策等の推進</p> <p>①計画的な整備 第五小（体育館）の外壁補修、東雲中（体育館・調理場）の改修等、築年数を基準とした整備の方向性に基づき改修を実施した。</p> <p>②整備計画の策定 学校、社会教育・スポーツ施設等の教育部所管施設について、「教育施設等長寿命化計画」を31年度までに策定することとした。</p> <p>③常時の調査・点検等 建築士による定期調査、法定・任意点検、職員による随時巡回等により状況を把握し、優先順位を定めて対応した。</p> <p>④教育環境の向上 ・全校の保健室にエアコンを設置した。 ・朴瀬小のトイレ改修を行った。 ・洋式トイレが不足している9校のうち、淳城西小、淳城南小、向能代小、能代東中の4校の実施設計を行った。</p>

点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る <p>[説明]</p> <p>1 学校施設の耐震化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・29年で4校を改修し、改修が必要な16校のうち12校が改修済みとなった。</li> <li>・未改修の4校のうち、1校は30年度で工事を実施する。残る3校は統合による閉校予定校につき当面は改修予定なし。</li> </ul> <p>2 学校施設の老朽化対策等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度当初予算に、長寿命化計画の策定について予算措置することができた。</li> <li>・各種の法定点検や調査結果等に基づき、緊急を要するものについては概ね必要な整備を行うことができた。</li> <li>・各校の保健室へのエアコンを設置することができた。当初予算で見込んでいた財源が確保できなかつたことから設置工事が遅れ、夏の使用に間に合わなかつたことは残念だった。</li> <li>・朴瀬小のトイレ改修により、市内各校の各階最低1ヶ所に洋式トイレを設置するという目標を達成した。</li> </ul>
課題及び今後の取組の方針性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 学校施設の耐震化の推進</p> <p>30年度の浅内小改修により、非構造部材の耐震改修は終了することになる（閉校予定校を除く）。</p> <p>2 学校施設の老朽化対策等の推進</p> <p>大規模な改修時期を迎える校舎等については、財源の確保が課題となる。</p>
学識経験者の意見	<p>○耐震化や老朽化対策について、計画的に取り組まれており、今後も引き続き対応に努めてほしい。</p> <p>●学校施設の耐震化に係る改修工事が計画的に進められている。未改修の1校についても、予定どおり平成30年度中に工事を終了してもらいたい。</p> <p>●各校の保健室にエアコンが設置されたことを嬉しく思う。今後は普通教室への設置についても順次検討願いたい。</p> <p>●(所管課が違うかもしれないが) 今後廃校となる学校施設の利活用の在り方については、地域住民をはじめ広く市民の声を吸い上げるとともに、所管課に対しアイディアの提供をお願いしたい。</p>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	2 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進
施策項目	① 学習の成果を地域に生かす取組の推進
方針・目標	市民の学習意欲を高められるよう学習環境の整備とともに、学びの成果を地域に生かすことができるよう生涯学習諸施策の充実を図ります。
事業・取組名	生涯学習推進事業
目標値	市民意識調査「学んだ知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合」が、過去3年間の平均値との比較で同等あるいは上回ります。
前年度の意見と対応	<p>■各関係団体及び行政間の連携、協議 ⇒校長会、婦人会、PTA、自治会連合協議会関係者等で構成される能代市生涯学習推進協議会を設置しており、生涯学習を効果的に推進するため協議の場を設け、生涯学習関連施策の提言、奨励普及に関する意見をいただいております。引き続き、地域の団体とタイアップした活動ができるよう努めていきます。</p> <p>■学んだことを生かす取組の広がりが見られる ⇒引き続き、公民館活動や放課後子ども教室等を通して、学校、家庭、地域と連携しながら活動の輪を広げていきます。</p> <p>■第2次能代市社会教育振興中期計画に基づく実施事業数、生涯学習ボランティア登録者数の増(H28とH27の比較) ⇒実施事業数の増は公民館事業によるもの、ボランティア登録者の増は生涯学習奨励員への呼びかけ、子ども館ボランティア講座実施後の登録によるものです。</p> <p>■地元新聞による周知 ⇒地元新聞の効果は大きいため、引き続き、PRに努めます。</p>
事務事業の実績	<p>1 生涯学習推進体制            (1) 生涯学習推進本部（本部長－市長、本部員－部長等）            (2) 生涯学習推進協議会（12人）            (3) 生涯学習奨励員（26人）            (4) 社会教育指導員（1人）</p> <p>2 情報提供            (1) 生涯学習関連事業の作成（生涯学習推進協議会委員等へ配布）            (2) 広報のしろへの「生涯学習のしろ」掲載（年2回）            (3) ホームページによる情報提供（随時）            (4) 地元新聞による情報提供</p> <p>3 学習環境の整備 ※( )は28年度実績            出前講座 講座件数 72件 ( 75件)            利用件数 94団体 ( 104団体)            受講者延べ 3,811人 (4,985人)</p> <p>4 人材の活用・育成            (1) 生涯学習奨励員の活動促進            ア 放課後子ども教室での講師（おかしづくり、絵手紙指導等）            イ マナヅウ市での交流（木工作、手芸等）</p>

	<p>ウ 生涯学習のつどい（工作、料理等）※奨励員自主事業      (2) 生涯学習ボランティア等の活用      ア 正課クラブ（渟城西小・家庭科クラブ）      イ 地域交流会（能代南中学校・生徒会）</p>
点検・評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る    <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり    <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①市民意識調査「学んだ知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合」      →H29 19.8%、過去3年間の平均値 16.5% (H28 15.8%、H27 16.3%、H26 17.4%)</p> <p>②第2次能代市社会教育振興中期計画に基づく実施事業数      → 90項目 (H28 92項目)</p> <p>③生涯学習ボランティア登録者数      → 55人 (H28 55人)</p> <p>④出前講座受講者数      →延べ3,811人 (H28 4,985人)</p> <p>⑤生涯学習奨励員による自主事業として、小学生を対象とした生涯学習のつどいが開催され、工作や簡単な料理づくりを通じ異世代交流が図られた。</p> <p>⑥連合婦人会による小中学生を対象とした踊りやお菓子づくりの伝承、また、能代南中学校生徒会の地域交流会においては、生涯学習ボランティアの活用がなされ、少子高齢化が進む中、双方にとってよい効果をもたらしている。</p>
課題及び今後の取組の方針	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくり      ・市民意識調査や講座終了後のアンケート結果を参考とし、市民の学習ニーズや地域課題を把握しながら、それに対応した学習機会の提供に努める。      ・広報、ホームページ、新聞等の活用により、講座情報の周知拡大を図り、学べる環境づくりに努める。</p> <p>②学びの成果を社会に還元する場や機会の創出      ・学んだ知識や特技を地区活動等で発揮することができるよう、研修会等で意識づけを図る。      ・発表、交流の場の提供に努め、学習を通した生きがいづくりを支援する。</p> <p>③子どもと大人がともに学び合い育ち合う地域づくり      ・地域資源（人・自然・行事等）を生かした体験活動の充実を図る。      ・世代を超えて多様な価値観や考え方に対する共感できるよう世代間交流を促進する。      ・学校、家庭、地域を繋げるコーディネーターの育成を図り、人と地域を繋ぐ仕組みづくりをすすめる。</p>
学識経験者の意見	<p>○取り組みが効果を上げていると思われる。今後も継続して取り組んでほしい。</p> <p>○出前講座受講者数の減少幅が大きいことから、この点の見直し、ないし改善が必要のように思われる。</p> <p>○学びの成果を社会の還元する場や機会を創出するため、今後ともその成功事例を積極的に情報発信していただくようにお願いしたい。</p> <p>●「学んだ知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合」が目標値である過去3年間の平均値を超えたことは、これまでの研修会等で</p>

	<p>の意識づけや交流の場の提供等の取組の成果と思う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●今後とも市民の学習ニーズ（知りたい、挑戦したいと思っていること）を把握しながら学習機会の提供に努めていってほしい。</li><li>●生涯学習奨励員による小学生を対象とした「生涯学習のつどい」の開催や、生涯学習ボランティアによる能代南中学校生徒会との交流など、世代間交流が進められている。</li></ul>
--	---

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	2 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																																																																																																
施策項目	② 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実																																																																																																
方針・目標	各種の講座を企画・運営し、少子高齢化や価値観の多様化等に対応した学習機会の提供に努めます。																																																																																																
事業・取組名	公民館活動事業 勤労青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業																																																																																																
目標値	講座数及び参加者数の過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ります。																																																																																																
前年度の意見と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■情報発信、情報交換、ニーズの把握について ⇒引き続き、指定管理者と連携しながら取り組みます。</li> <li>■開設講座の内容や対象者の検討 ⇒アンケート等から抽出した利用者のニーズを、講座内容に反映させるよう努めます。</li> <li>■指定管理者との緊密な連携と中央公民館と地区公民館との情報交換の場の確保 ⇒指定管理者との月例打ち合わせ、公民館長会議の実施を継続します。</li> </ul>																																																																																																
事務事業の実績	<p>1 中央公民館・地区公民館等開設講座・事業数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>講座数</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>36講座</td> <td>266回</td> <td>10,791人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>35講座</td> <td>278回</td> <td>12,692人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>35講座</td> <td>189回</td> <td>10,742人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>35講座</td> <td>186回</td> <td>11,006人</td> </tr> <tr> <td>H26～28平均</td> <td>35講座</td> <td>217回</td> <td>11,480人</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>+1講座</td> <td>+49回</td> <td>-689人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 中央公民館・地区公民館等開催講座内訳（数値は延べ数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>おもな事業内容</th> <th>対象</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">家庭教育 (幼児教育)</td> <td>親子体験活動</td> <td>年中・年長児と保護者</td> <td>7</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td>食育体験学習</td> <td>年長児～小学生</td> <td>6</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>保護者の学習</td> <td>保護者</td> <td>7</td> <td>203人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">少年教育</td> <td>体験活動・異年齢交流</td> <td>一</td> <td>14</td> <td>283人</td> </tr> <tr> <td>体験活動（地区）</td> <td>地区小学生</td> <td>15</td> <td>234人</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">成人教育</td> <td>ボランティア育成</td> <td>中・高校生</td> <td>13</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>テーマに沿った課題学習</td> <td>一般成人</td> <td>9</td> <td>127人</td> </tr> <tr> <td>集合学習（市民学校）</td> <td>一般成人</td> <td>78</td> <td>949人</td> </tr> <tr> <td>働く婦人の家主催講座</td> <td>一般成人</td> <td>10</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム主催講座</td> <td>一般成人</td> <td>24</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>集合学習（寿大学）</td> <td>高齢者</td> <td>60</td> <td>2,698人</td> </tr> <tr> <td>文化活動</td> <td>公民館祭・文化祭</td> <td>一</td> <td>22</td> <td>5,651人</td> </tr> <tr> <td>コミュニティ活動</td> <td>地域づくり講演会</td> <td>一般成人</td> <td>1</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td align="center" colspan="3">合 計</td><td>266</td><td>10,791人</td></tr> </tbody> </table>	年度	講座数	回数	参加者数	H29	36講座	266回	10,791人	H28	35講座	278回	12,692人	H27	35講座	189回	10,742人	H26	35講座	186回	11,006人	H26～28平均	35講座	217回	11,480人	3ヵ年平均との比較	+1講座	+49回	-689人	分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数	家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児と保護者	7	122人	食育体験学習	年長児～小学生	6	67人	保護者の学習	保護者	7	203人	少年教育	体験活動・異年齢交流	一	14	283人	体験活動（地区）	地区小学生	15	234人	成人教育	ボランティア育成	中・高校生	13	160人	テーマに沿った課題学習	一般成人	9	127人	集合学習（市民学校）	一般成人	78	949人	働く婦人の家主催講座	一般成人	10	126人	勤労青少年ホーム主催講座	一般成人	24	150人	高齢者教育	集合学習（寿大学）	高齢者	60	2,698人	文化活動	公民館祭・文化祭	一	22	5,651人	コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1	21人	合 計			266	10,791人
年度	講座数	回数	参加者数																																																																																														
H29	36講座	266回	10,791人																																																																																														
H28	35講座	278回	12,692人																																																																																														
H27	35講座	189回	10,742人																																																																																														
H26	35講座	186回	11,006人																																																																																														
H26～28平均	35講座	217回	11,480人																																																																																														
3ヵ年平均との比較	+1講座	+49回	-689人																																																																																														
分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数																																																																																													
家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児と保護者	7	122人																																																																																													
	食育体験学習	年長児～小学生	6	67人																																																																																													
	保護者の学習	保護者	7	203人																																																																																													
少年教育	体験活動・異年齢交流	一	14	283人																																																																																													
	体験活動（地区）	地区小学生	15	234人																																																																																													
成人教育	ボランティア育成	中・高校生	13	160人																																																																																													
	テーマに沿った課題学習	一般成人	9	127人																																																																																													
	集合学習（市民学校）	一般成人	78	949人																																																																																													
	働く婦人の家主催講座	一般成人	10	126人																																																																																													
	勤労青少年ホーム主催講座	一般成人	24	150人																																																																																													
高齢者教育	集合学習（寿大学）	高齢者	60	2,698人																																																																																													
文化活動	公民館祭・文化祭	一	22	5,651人																																																																																													
コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1	21人																																																																																													
合 計			266	10,791人																																																																																													

点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る
	[説明] <p>① 公民館の講座等については、過去3年間の平均は217回・11,480人に対し、29年度は266回・10,791人で、回数は多くなったが参加者数が減少している。</p> <p>② 「ちびっ子公民館」の能代夙づくりや創作かるた大会、「子ども料理教室」では講師を子どもたちの祖母世代に依頼することで、世代間交流を推進することができた。</p> <p>③ 「ボランティア育成講座」は中学校の協力を得て年度初めから対象を中学生まで拡充し、延参加人数は対前年33人増となった。</p> <p>④ フェイスブック等のSNSを利用し、情報提供をした。</p>
課題及び今後の取組の方針	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他( )
	[具体的な課題及び取組] <p>1 市民のニーズにあった講座等の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①アンケート等による市民ニーズの把握に努める。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれる前から続く親子関係について体験や活動を通して学ぶ「親子でTOMO育講座」を新規に実施予定。</li> <li>・「ボランティア育成講座」は対象を引き続き中学生まで拡充して実施する。</li> <li>・参加者の満足度を数値化できるような設問を引き続き設定し、更なるニーズの把握に努める。</li> </ul> </li> <li>②講座へ参加しやすい時間帯の設定や、他行事と重ならないような日程調整を引き続きしていく。</li> </ul> <p>2 多様な手法による情報提供</p> <p>広報やホームページ、SNSを活用した情報提供のほか、フリー情報誌などにも広告を掲載し幅広く情報提供を行った。引き続き様々な媒体を活用し、より広範囲に情報が届くような取組を行う。</p> <p>3 指定管理者等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行い、情報交換を密にする。</li> <li>②中央公民館・地区館の事業担当者間の情報交換の場として公民館長会議を年3回実施する。</li> </ul>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成28年度は特異的に回数、参加者数が多かったことから、平成29年度の参加者数は平成27年度の平常レベルに戻ったとも言える。ここから落ちていくことがないように取り組んでいただきたい。</li> <li>●「ボランティア育成講座」の参加対象を中学生まで拡充して実施したことは、できるだけ早い段階でボランティアの重要性と意義について考えてもらうためにも適切と思う。</li> <li>●講座の内容や開催期日等の周知にあたっては、今後とも広報やホームページ、SNS等を活用していってほしい。</li> </ul>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	2 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																																												
施策項目	③ 学習を通した生きがいづくり、仲間づくりの支援																																												
方針・目標	1 自主学習グループ等の自主的な活動を支援し、学習成果の発表の場及び交流の場の確保・提供に努めます。 2 高齢者の生活環境の変化や多様化する学習要求に応えます。																																												
事業・取組名	公民館活動事業 青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業																																												
目標値	1 自主学習グループ・勤労青少年ホーム利用者連絡協議会・働く婦人の家利用グループ登録団体数が過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ります。 2 寿大学の参加者数が、過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ります。																																												
前年度の意見と対応	<p>■自主学習グループの登録団体数、人数の減少幅を抑えるための工夫  ⇒引き続き、講座受講者に自主学習グループ結成を働きかけるなど、指定管理者と連携しながら取り組みます。</p> <p>■高齢者が楽しく取り組めるような活動内容の検討  ⇒指定管理者と連携し、アンケート等により把握した参加者のニーズを事業内容に反映するよう努めます。</p>																																												
事務事業の実績	<p>1 自主学習グループ等登録団体数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">自主学習グループ等合計</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>285団体</td> <td>3,905人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>293団体</td> <td>3,980人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>294団体</td> <td>4,056人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>303団体</td> <td>4,125人</td> </tr> <tr> <td>H26～28平均</td> <td>296団体</td> <td>4,053人</td> </tr> <tr> <td>平均との比較</td> <td>△11団体</td> <td>△148人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自主学習グループ+働く婦人の家利用グループ</p> <p>2 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用グループ数</th> <th>登録人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>11団体</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10団体</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>11団体</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>11団体</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>H26～28平均</td> <td>11団体</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>平均との比較</td> <td>±0団体</td> <td>±0人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	自主学習グループ等合計		団体数	人数	H29	285団体	3,905人	H28	293団体	3,980人	H27	294団体	4,056人	H26	303団体	4,125人	H26～28平均	296団体	4,053人	平均との比較	△11団体	△148人	年度	利用グループ数	登録人数	H29	11団体	58人	H28	10団体	51人	H27	11団体	54人	H26	11団体	71人	H26～28平均	11団体	58人	平均との比較	±0団体	±0人
年度	自主学習グループ等合計																																												
	団体数	人数																																											
H29	285団体	3,905人																																											
H28	293団体	3,980人																																											
H27	294団体	4,056人																																											
H26	303団体	4,125人																																											
H26～28平均	296団体	4,053人																																											
平均との比較	△11団体	△148人																																											
年度	利用グループ数	登録人数																																											
H29	11団体	58人																																											
H28	10団体	51人																																											
H27	11団体	54人																																											
H26	11団体	71人																																											
H26～28平均	11団体	58人																																											
平均との比較	±0団体	±0人																																											

	<p>3 寿大学参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td><td>60回</td><td>2,698人</td></tr> <tr> <td>H28</td><td>59回</td><td>2,841人</td></tr> <tr> <td>H27</td><td>57回</td><td>2,803人</td></tr> <tr> <td>H26</td><td>56回</td><td>2,672人</td></tr> <tr> <td>H26～28平均</td><td>57回</td><td>2,772人</td></tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td><td>3回</td><td>△74人</td></tr> </tbody> </table>	年度	回数	参加者数	H29	60回	2,698人	H28	59回	2,841人	H27	57回	2,803人	H26	56回	2,672人	H26～28平均	57回	2,772人	3ヵ年平均との比較	3回	△74人
年度	回数	参加者数																				
H29	60回	2,698人																				
H28	59回	2,841人																				
H27	57回	2,803人																				
H26	56回	2,672人																				
H26～28平均	57回	2,772人																				
3ヵ年平均との比較	3回	△74人																				
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①自主学習グループ等の登録団体については、団体数、登録人数とも減少傾向である。達成率は団体数96.2%・人数96.3%となっている。</p> <p>②寿大学参加者数は、回数は多かったものの、3ヵ年平均よりやや下回っている。</p>																					
課題及び今後の取組の方針	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>引き続き講座等終了後に自主学習グループ結成を呼びかけるなどして、継続した学びを奨励していく。</p>																					
学識経験者の意見	<p>○高齢化、人口減少の中で「同等あるいは上回る」という目標が現実的でなくなりつつあるように思うが、厳しい状況の中では十分な取り組みがなされているように思う。</p> <p>○実績として、数字はわかるが、具体的にどのような努力がなされたのかがわからないので、その点に簡略に触れていただくようにお願いしたい。</p> <p>●自主学習グループ等の登録団体数、登録人数が増えるよう、引き続き指定管理者と連携しながら働きかけていってほしい。</p> <p>●寿大学については、高齢者のニーズに応じた活動内容を設定したことにより、回数が増えたものと思う。今後とも高齢者が興味・関心をもって取り組めるような活動内容を提供していってほしい。</p>																					

## 【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	2 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																		
施策項目	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実																		
方針・目標	1 指定管理者と連携を図ります。 2 計画的な設備の修繕を行います。																		
事業・取組名	公民館管理運営事業 施設管理事業（勤労青少年ホーム・働く婦人の家） 文化会館管理運営事業																		
目標値	指定管理者との打ち合わせを、毎月実施します。																		
前年度の意見と対応	<p>■施設・設備の改修・修繕等における計画的な整備 ⇒有利な財源等の検討をしながら、優先順位をつけて施設・設備の改修に努めます。</p> <p>■建物の老朽化に伴う改修への対応 ⇒指定管理者と連携しながら施設・設備の状態の把握、早急な対応に努めます。</p> <p>■指定管理者との打ち合わせの実施 ⇒引き続き月例打合せを実施します。生涯学習の推進と利用者の利便性の向上に向けた協議を行い、指定管理者と連携によりよい学習環境の整備に努めます。</p>																		
事務事業の実績	<p>1 指定管理者との情報交換 これまで同様、月一回の打ち合わせを実施した。</p> <p>2 施設・設備改修</p> <table> <tbody> <tr> <td>ア ニッ井公民館ニッ井分館</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・トイレ改修（洋式化）工事</td> <td>1,558千円</td> </tr> <tr> <td>・屋根葺替工事</td> <td>7,344千円</td> </tr> <tr> <td>イ 文化会館</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・大・中ホール搬入口ドア取替工事</td> <td>4,936千円</td> </tr> <tr> <td>・中ホール等温水ボイラー及び膨張タンク取替工事</td> <td>24,582千円</td> </tr> <tr> <td>・大・中ホール音響操作卓等改修工事</td> <td>21,472千円</td> </tr> <tr> <td>・エントランスホール照明LED化工事</td> <td>3,111千円</td> </tr> <tr> <td>・大ホール舞台吊物機構改修工事</td> <td>30,240千円</td> </tr> </tbody> </table>	ア ニッ井公民館ニッ井分館		・トイレ改修（洋式化）工事	1,558千円	・屋根葺替工事	7,344千円	イ 文化会館		・大・中ホール搬入口ドア取替工事	4,936千円	・中ホール等温水ボイラー及び膨張タンク取替工事	24,582千円	・大・中ホール音響操作卓等改修工事	21,472千円	・エントランスホール照明LED化工事	3,111千円	・大ホール舞台吊物機構改修工事	30,240千円
ア ニッ井公民館ニッ井分館																			
・トイレ改修（洋式化）工事	1,558千円																		
・屋根葺替工事	7,344千円																		
イ 文化会館																			
・大・中ホール搬入口ドア取替工事	4,936千円																		
・中ホール等温水ボイラー及び膨張タンク取替工事	24,582千円																		
・大・中ホール音響操作卓等改修工事	21,472千円																		
・エントランスホール照明LED化工事	3,111千円																		
・大ホール舞台吊物機構改修工事	30,240千円																		
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      ■ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①指定管理者の更新（中央公民館等4館）と、新規導入（ニッ井公民館・ニッ井分館）を行った。</p> <p>②指定管理者との月例打ち合わせで、生涯学習の推進と利用者の利便性向上に向けた協議を行った。</p> <p>③施設や設備の老朽化に伴い改修箇所が増加傾向であるが、優先順位をつけて計画的に対応した。</p>																		
課題及び今後の取組の方針	<p><input type="checkbox"/>拡充      ■継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①指定管理者等との連携 ・引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行うほか、メール等も活用して隨時情報交換を行う。</p>																		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館・地区館の情報交換の場として引き続き公民館長会議の実施をする。</li> </ul> <p>②施設・設備の修繕</p> <p>引き続き指定管理者と連携しながら施設・設備の状態を把握し、計画を立てて修繕や改修を実施するよう努める。</p>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○老朽化対策は不可避であり、財源確保を見通しながら、計画的に進めていただきたい。</li> <li>○安全面、利便面で課題がないか、常にチェックしていただくようお願いしたい。</li> <li>●より良い学習環境の整備・充実を目指して、指定管理者と月一回の打ち合わせを行うなど、連携して取り組んでいる。</li> <li>●施設設備の改修・修繕等が計画的に行われている。引き続き、こまめに情報交換しながら維持管理に努めていってほしい。</li> </ul>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	2 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																																							
施策項目	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実																																							
方針・目標	市民の学習要求に応えるため、必要な資料を広く収集・整理・提供するとともに、生涯学習や生活に役立ち、利用しやすい図書館となるよう努めます。 また、読書活動を推進するため、学校や地域との連携を強化するとともに、各種講座、行事などの事業を展開し、利用者拡大に努めます。																																							
事業・取組名	図書館管理運営事業																																							
目標値	快適な読書環境を提供し、より多くの住民に利用されるよう、毎年実施する利用者満足度調査の評価ポイント5段階中4ポイント以上を目指します。																																							
前年度の意見と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用拡大、満足度の向上について ⇒利用者ニーズを把握しながら、読書振興に繋がる取組を進めるとともに、他図書館や関係機関との連携を図り運営していきます。</li> <li>■子どもの読書活動の推進について ⇒引き続き、学校や家庭、地域との連携を図ります。</li> <li>■指定管理者との連携について ⇒今後も指定管理者と連携し、市民生活や学習に役立つ、利用しやすい図書館をめざし、施設の環境整備に努めます。</li> </ul>																																							
事務事業の実績	<p>1 図書館資料の充実</p> <p>(1) 藏書数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>一般書</th> <th>郷土</th> <th>児童書</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>123,049 冊</td> <td>15,423 冊</td> <td>36,126 冊</td> <td>174,598 冊</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>121,417 冊</td> <td>15,100 冊</td> <td>35,732 冊</td> <td>172,249 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 特色ある蔵書づくり ※( )は28年度実績      「木に関するコーナー」 H29 1,788 冊 (1,754 冊)      「宇宙コーナー」 H29 769 冊 ( 720 冊)      「家読（うちどく）コーナー」 家読ノートに掲載のお薦めの本等を展示</p> <p>(3) 雑誌スポンサー制度 (H26年4月導入)      H29 スポンサー数 18 件 / 雑誌 23 誌      (H28 スポンサー数 16 件 / 雑誌 21 誌)</p> <p>2 サービス活動の充実と利用の拡大</p> <p>(1) 貸出冊数、来館者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>個人貸出</th> <th>団体貸出</th> <th>合 計</th> <th>来館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>162,504 冊</td> <td>12,286 冊</td> <td>174,790 冊</td> <td>110,233 人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>156,783 冊</td> <td>11,502 冊</td> <td>168,285 冊</td> <td>109,719 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29年4月から貸出冊数の無制限を試行中。</p> <p>(2) その他統計</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: right;"> <tr> <td style="width: 60%;">ア レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内</td> <td style="width: 20%;">10,160 件</td> <td style="width: 20%;">9,015 件</td> </tr> <tr> <td>イ リクエスト (予約) サービス</td> <td>5,710 冊</td> <td>6,272 冊</td> </tr> <tr> <td>ウ 障がい者サービス (家庭配本)</td> <td>175 冊</td> <td>133 冊</td> </tr> </table>	年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計	H29	123,049 冊	15,423 冊	36,126 冊	174,598 冊	H28	121,417 冊	15,100 冊	35,732 冊	172,249 冊	年度/項目	個人貸出	団体貸出	合 計	来館者数	H29	162,504 冊	12,286 冊	174,790 冊	110,233 人	H28	156,783 冊	11,502 冊	168,285 冊	109,719 人	ア レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内	10,160 件	9,015 件	イ リクエスト (予約) サービス	5,710 冊	6,272 冊	ウ 障がい者サービス (家庭配本)	175 冊	133 冊
年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計																																				
H29	123,049 冊	15,423 冊	36,126 冊	174,598 冊																																				
H28	121,417 冊	15,100 冊	35,732 冊	172,249 冊																																				
年度/項目	個人貸出	団体貸出	合 計	来館者数																																				
H29	162,504 冊	12,286 冊	174,790 冊	110,233 人																																				
H28	156,783 冊	11,502 冊	168,285 冊	109,719 人																																				
ア レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内	10,160 件	9,015 件																																						
イ リクエスト (予約) サービス	5,710 冊	6,272 冊																																						
ウ 障がい者サービス (家庭配本)	175 冊	133 冊																																						

エ 県立図書館等公共図書館との相互協力	借受 700 冊	649 冊
オ ホームページの整備と管理	貸出 389 冊	450 冊
	アクセス数 16,434 件	15,621 件

(3) 市や社会教育施設等との連携

- ア 「子育て・家庭教育に関する本」の貸出  
保育所向け・小学校向け・中学校向けの本3セット(1セット15冊)を、希望のあった施設へ設置 (生涯学習・スポーツ振興課)
- イ 男女共同参画関連図書の展示、貸出 (6月／市民活力推進課)
- ウ 育児関係本や絵本の配本 (毎月3歳児検診／健康づくり課)
- エ 「どの本読もうかな」(読み聞かせおすすめ絵本の紹介)の配布 (年4回／健康づくり課)
- オ 木に関する加工品の展示 (年5回／木材高度加工研究所)

(4) 学習機会の提供※1

年度／項目	講座等の開催		人形劇、書評合戦等の開催	
H29	11回	300人	11回	436人
H28	9回	231人	8回	373人

(5) テーマ展示の充実等

- 特色ある月替わりのテーマ展示やおみくじ等を実施。
- ア としょかんおみくじ (大人用181枚／子ども用90枚を配布)
- イ 子育て支援関連コーナーの設置
- ウ としょかん福袋 (年末 大人用12袋／ティーズ3袋／子ども用16袋)
- エ おやこわいわいルーム (H29 209人／H28 129人)
- オ 家読コーナーでの展示・貸出

(6) 開館時間延長及び開館日拡大の継続

- ・開館を午前9時から、閉館を午後7時とし、開館時間の2時間延長を継続した。
- ・月曜日以外の祝日を開館とし、開館日の拡大を継続した。

### 3 子どもの読書活動の推進

(1) 読み聞かせ活動の充実及び学校との連携・支援※2

年度/項目	おはなし会		出前おはなし会	
H29	31回	462人	3施設	64人
H28	28回	411人	2施設	36人

(読み聞かせはボランティアが担当)

- ・一日図書館員 (小学校6年生) 2人
- ・学校図書館担当者研修会 (学校図書館の支援のあり方) 33人
- ・学校への図書配本を実施 16回／999冊
- ・としょかんクイズラリーの開催 達成者41人
- ・図書館を使った調べる学習コンクールの開催 応募28作品

(2) ボランティアとの連携

\*1 2 (4) 学習機会の提供、\*2 3 (1) 読み聞かせ活動の充実及び学校との連携・支援に記載

	<p>4 指定管理者との連携による利用者サービスの向上</p> <p>利用者満足度調査：</p> <p>調査月日 10月7日（土）～10日（火）</p> <p>調査方法 来館者無作為抽出</p> <p>調査対象 利用者 300人 回収者 290人</p> <p>回収者内訳 性別 男102人、女161人、無回答27人 年齢 10歳代14人、20歳代11人、30歳代38人、 40歳代48人、50歳代35人、60歳代68人、 70歳代42人、無回答34人</p> <p>【全体的にみた、図書館に対する満足度】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回答者</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>普通</th> <th>やや不満</th> <th>不満</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>280人</td> <td>139人</td> <td>84人</td> <td>56人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>4.29</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>279人</td> <td>128人</td> <td>89人</td> <td>57人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> <td>4.22</td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価は5段階 「満足」5 「やや満足」4 「普通」3 「やや不満」2 「不満」1</p>		回答者	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足度	H29	280人	139人	84人	56人	1人	0人	4.29	H28	279人	128人	89人	57人	5人	0人	4.22
	回答者	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足度																		
H29	280人	139人	84人	56人	1人	0人	4.29																		
H28	279人	128人	89人	57人	5人	0人	4.22																		
点検・評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①図書館利用者満足度調査において、全体的にみた図書館に対する満足度（5点満点）は、29年度は4.29で、前年度よりわずかながら上昇している。</p> <p>②図書館を使った調べる学習コンクールを初開催。市内小学校から28点の応募があった。調べる学習を通して主体的に学ぼうとする意欲向上に繋がっていると思われる。</p> <p>③27年度から、指定管理者制度を導入し、株式会社図書館流通センターが指定管理者となった。利用者及び利用冊数は前年度と比較すると、横ばいとなっている。</p> <p>④木材高度加工研究所との連携展示や商店街ビブリオバトル等、他の施設や団体と連携した取組を進めた。</p>																								
課題及び今後の取組の方針性	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①図書資料の充実 市民の学習要求に応えられるよう図書資料の充実を図る。また、特色ある蔵書づくりを推進する。</p> <p>②関係機関との連携 他の公共図書館や図書館ボランティア等との連携を図り、多様な学びの機会の提供やサービスの充実に努める。</p> <p>③指定管理者との連携 今後も引き続き指定管理者と連携し、施設の円滑な維持管理、運営を図りながら事業を推進していく。</p>																								
学識経験者の意見	<p><input type="checkbox"/>大変充実した取り組みが行われていて、効果が上がっていると思われます。 学校図書館との連携も活発に行われていて、子どもたちの間に図書館利用の習慣づけができているように思われる。図書館を使った調べる学習コンクールも優れた取り組みだと思う。</p> <p>●図書館利用者満足度調査において満足度が前年度を上回ったのは、特色ある蔵書コーナーの設置やテーマ展示の工夫、開館時間の延長・開館日の拡充などの取組の成果であると思う。</p>																								

- 貸出冊数と来館者数が前年度を上回った。今後とも市民の学習要求に応えるべく蔵書や資料の充実を図るとともに、利用しやすい図書館環境の整備に努めてほしい。
- ボランティアと連携して読み聞かせ活動や人形劇、書評合戦等が計画的に行われており、子どもたちの読書活動の推進に大きく寄与している。

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	3 学校・家庭・地域・行政等が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進
方針・目標	自分が住む地域への理解を深め、「ふるさと能代」に愛着をもった子どもたちを育成するため、能代の地域全体を学びの場とした体験活動を中心に事業を推進します。
事業・取組名	のしろDEマナブウ事業
目標値	マナブウ講座の実施回数を、前年度との比較で同等あるいは上回ります。
前年度の意見と対応	<p>■学校との連携について ⇒ふるさと学習交流会のオープニング（郷土芸能発表）は学校と連携し行っています。今後も引き続き連携しながら事業を進めています。</p> <p>■マナブウ事業の周知及び継続について ⇒公民館や青年会議所等へ事業を取り入れてもらうようPRしています。より多くの児童が参加できるよう、子ども達が集まる場所等でのPRに努めてまいりたいと考えております。</p>
事務事業の実績	<p>(1) 講座の実施回数及び参加人数 65講座 593人参加 (H28: 54講座 721人参加)</p> <p>(2) マナブウ・イベントの実施 ・ミニマナブウ市の開催 (5/28 開催) ・マナブウ市の開催 (10/7 開催 延べ 535人参加、H28: 534人) ・ふるさと学習交流会の開催（学校教育課との共催）郷土芸能発表1団体</p> <p>(3) マナブウ・カードの配布 1,684枚配布 (H28 1,518枚)</p> <p>(4) 親子でのしろの宝さがし事業の実施</p>
点検・評価	<p>■目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る  <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>① マナブウ講座の実施回数 65講座 (H28: 54講座)      ② 親子でのしろの宝さがしの周知事業として夏季休業中に「のしろの宝をさがしに行こう！」を開催。子どものみを対象としたが、好評であった。本来の親子での取組への参加意欲を喚起できたと思われる。      ③ マナブウカードを配布の際、どこで使えるのか説明するとともにメモを付け、より分かりやすく周知した。      ④ マナブウ市において、新たに参加した市民団体があり、事業のPR効果が見られた。</p>
課題及び今後の取組の方針性	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①ニーズに応じた事業展開 アンケート結果に基づき、子ども達がやってみたい体験活動を各講座へ取り入れ、子ども達がより進んで取り組めるよう事業を推進する。</p> <p>②事業内容の検討 豊かな自然、歴史文化等の地域資源を生かしたイベント等の開催により、子ども達が楽しく遊びながら地域を学び、自ら興味を持って取組める内容の事業を</p>

	<p>検討。</p> <p>③イベントを通した事業周知 子どもが参加するイベント等を通して、子ども達に分かりやすいカードの使用方法やマナブゥ市、親子でのしろの宝さがし事業等の周知に努める。</p> <p>④マナブゥカードの使用拡充の検討 マナブゥカードが使える機会が年2回のため、今後、新たなカードの使用方法や使用機会の拡充を検討する。</p> <p>⑤民間団体等との連携 事業の趣旨にあった民間団体（青年会議所等）の講座等と連携し、カードがもらえる機会を増やすとともに、地域全体への理解を広げていく。</p>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「のしろの宝をさがしに行こう！」、マナブゥカードの配布、マナブゥ市など、様々な工夫が行われており、成果を上げていると思われる。</li> <li>○講座の内容によるものと思うが、講座数が増加する一方で、参加者数が減少している部分について、原因の分析と対策をお願いしたい。</li> <li>●「のしろDEマナブゥ事業」は、講座の実施回数が増えたものの、参加人数が減少した。休日での習い事や学校行事、スポ少活動などで子どもたちが参加できないという実態もその要因の一つではないかと思われる。今後は講座の実施期日の決定において、学校との事前の調整がこれまで以上に必要と思う。</li> <li>●マナブゥ市は、マナブゥカードをゲットしながら様々な体験活動ができるというユニークな取組であり、今後とも継続してほしい。</li> </ul>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	3 学校・家庭・地域・行政等が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																																																												
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進																																																												
方針・目標	学校・家庭・地域・行政等が協働で、体験活動や見守りなど、子どもを育てる環境づくりに取り組みます。																																																												
事業・取組名	放課後子ども教室推進事業																																																												
目標値	週末体験活動の実施回数を各校、年5回を目指します。																																																												
前年度の意見と対応	<p>■週末体験活動について ⇒各小学校のコーディネーターのアイデアにより、魅力的な活動が進められています。今後、さらに、地域を巻き込んだ取り組みに繋げていきたいと考えています。</p> <p>■放課後児童クラブやスポ少等との連携の在り方 ⇒放課後児童クラブとの連携は、放課後子ども総合プランの取組として、年次計画で進めており、今後も計画的に実施します。また、スポ少との連携についても検討していきたいと考えています。</p>																																																												
事務事業の実績	<p>1 参加者数等の推移 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">29年度</th> <th colspan="3">28年度</th> </tr> <tr> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> <th>学校数</th> <th>日数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平日図書室等開放</td> <td>7</td> <td>1,352</td> <td>23,797</td> <td>7</td> <td>1,324</td> <td>25,807</td> </tr> <tr> <td>土曜日体育館開放</td> <td>4</td> <td>80</td> <td>722</td> <td>5</td> <td>104</td> <td>1,524</td> </tr> <tr> <td>夏休みプール開放</td> <td>12</td> <td>182</td> <td>8,134</td> <td>12</td> <td>197</td> <td>8,856</td> </tr> <tr> <td>週末体験活動</td> <td>12</td> <td>57</td> <td>1,054</td> <td>12</td> <td>54</td> <td>1,059</td> </tr> <tr> <td>総合プラン</td> <td>5</td> <td>36</td> <td>204</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>249</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>1,707</td> <td>33,911</td> <td></td> <td>1,696</td> <td>37,495</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 週末体験活動の主な活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新米できりたんぼ（渟城西小）</li> <li>・鶴形そば（渟城南小）</li> <li>・エコ料理（第四小）</li> <li>・木で編むコースター（第五小）</li> <li>・茶道体験（向能代小）</li> <li>・バルーンアート（朴瀬小）</li> <li>・親子でカヌー（竹生小）</li> <li>・木工作（崇徳小）</li> <li>・ヨサコイ（鶴形小）</li> <li>・おひなさまケーキ（浅内小）</li> <li>・バブルサッカー（常盤小）</li> <li>・ジャガイモ掘り（二ツ井小）</li> </ul> <p>実施回数 5回（10校）、4回（1校）、3回（1校）</p> <p>3 放課後子ども総合プランに基づく取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向能代小 俳句教室（9回、延べ72人うち児童クラブ39人）</li> <li>・第五小 番楽教室（11回、延べ38人うち児童クラブ0人）</li> </ul> <p>4 放課後児童クラブ未設置校における平日の体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹生小 俳句教室（4回、延べ24人）</li> <li>・崇徳小 百人一首教室（4回、延べ28人）</li> <li>・浅内小 圏碁教室（8回、延べ42人）</li> </ul>							29年度			28年度			学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数	平日図書室等開放	7	1,352	23,797	7	1,324	25,807	土曜日体育館開放	4	80	722	5	104	1,524	夏休みプール開放	12	182	8,134	12	197	8,856	週末体験活動	12	57	1,054	12	54	1,059	総合プラン	5	36	204	2	17	249	合 計		1,707	33,911		1,696	37,495
	29年度			28年度																																																									
	学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数																																																							
平日図書室等開放	7	1,352	23,797	7	1,324	25,807																																																							
土曜日体育館開放	4	80	722	5	104	1,524																																																							
夏休みプール開放	12	182	8,134	12	197	8,856																																																							
週末体験活動	12	57	1,054	12	54	1,059																																																							
総合プラン	5	36	204	2	17	249																																																							
合 計		1,707	33,911		1,696	37,495																																																							

点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>①週末体験活動の実施回数 延べ 57 回 (平均 4.75 回)</p> <p>②講師や安全管理員は地域の方々にお願いし、地域で子ども達を育てるという意識の醸成を図っている。</p> <p>③ふるさと能代を学ぶ体験だけではなく、子ども達が楽しみながら学べるメニューを提供している。</p> <p>④スポ少や習い事のため参加できない児童がいるが、実施日を週末に拘らず、振替休業日に実施するなど、参加しやすいようにした。</p>
課題及び 今後の取組の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①学校・家庭・地域の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくり、体験活動を通じた心豊かで健やかに育まれる環境づくりのため、事業を継続。</li> <li>・体験活動を通して、大人と子どもが共に学び合う意識の醸成を図る。</li> <li>・アンケート等により、子ども達が知りたい、学びたいメニューの充実を図る。</li> </ul> <p>②放課後児童クラブとの連携強化</p> <p>放課後子ども総合プランにおける取組を継続。放課後児童クラブと連携した平日の放課後子ども教室を実施する。</p> <p>H30 実施予定 - 児童クラブ設置校 (向能代小、第五小、他 2 校)        // 未設置校 (浅内小、竹生小、崇徳小)</p>
学識経験者の意見	<p>○参加者数については、年度毎の状況が違うため、単純に比較できないが、昨年度に比べて大きく減少しており、この点の検討をお願いしたい。</p> <p>○多彩な活動が各地域で行われているので、今後とも継続・発展を目指してほしい。</p> <p>●各小学校では、コーディネーターを中心にしながら家庭・地域と連携して様々な週末体験活動が行われている。</p> <p>●今後とも放課後児童クラブと連携しながら、放課後の児童の居場所づくりに努めていってほしい。</p>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	3 学校・家庭・地域・行政等が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進																
方針・目標	関係機関・団体と連携しボランティアや世代間交流の提供、社会環境づくりなどをを行うことで、能代市の将来を担う青少年の自立・成長を促します。																
事業・取組名	青少年健全育成事業																
目標値	社会参加活動促進事業「みんなで Action！」の参加者数が、過去3年間の平均値との比較で同等あるいは上回ります。																
前年度の意見と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市民会議の会員の高齢化の対応 ⇒市の青少年健全育成のため、既存団体と新規関連団体との連携も視野に入れ、若返りを働きかけていくよう努めていきます。</li> <li>■能代市青少年健全育成活動方針の周知 ⇒引き続き、広報、ホームページ等に掲載し活用していただけるよう周知を図っていきたいと考えています。</li> <li>■社会参加活動促進事業「みんなで Action！」について ⇒中学校、高校の協力を得ながら進めています。引き続き、多くの中高生が参加できるよう働きかけていきたいと考えています。</li> </ul>																
事務事業の実績	<p>1 青少年健全育成事業</p> <p>(1) 「平成29年度能代市青少年健全育成活動方針」策定 広報への掲載、関係団体への周知に努めた。</p> <p>(2) 社会参加活動促進事業「みんなで Action!」を青少年育成能代市民会議や連合婦人会とタイアップして実施した。(家庭教育支援事業との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動(5/12) 中学生 22人</li> <li>・非行防止街頭キャンペーン(7/10、11/24) 中学生 4人、高校生 33人</li> <li>・交通安全うちわ作戦(8/5) 中学生 2人、高校生 1人</li> <li>・交通安全呼びかけ運動(8/10) 中学生 7人</li> <li>・子育て、高齢者世帯訪問(9/29) 高校生 4人</li> </ul> <p>計 6 回</p> <p>(3) 事故防止の看板設置(河川、沼等) 135箇所</p> <p>2 能代市成人式の開催</p> <p>(1) 新成人で組織する実行委員会方式で開催</p> <p>(2) 記念品は能代らしいものとし、秋田杉製箸・箸置きとした。</p> <p>(3) 出席者の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>出席者</th> <th>出席率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>H8.4.2～H9.4.1 生</td> <td>517人</td> <td>386人 74.7%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H7.4.2～H8.4.1 生</td> <td>499人</td> <td>396人 79.4%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H6.4.2～H7.4.1 生</td> <td>587人</td> <td>491人 83.6%</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	出席者	出席率	H29	H8.4.2～H9.4.1 生	517人	386人 74.7%	H28	H7.4.2～H8.4.1 生	499人	396人 79.4%	H27	H6.4.2～H7.4.1 生	587人	491人 83.6%
	対象者	出席者	出席率														
H29	H8.4.2～H9.4.1 生	517人	386人 74.7%														
H28	H7.4.2～H8.4.1 生	499人	396人 79.4%														
H27	H6.4.2～H7.4.1 生	587人	491人 83.6%														

点検・評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る      <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①社会参加活動促進事業「みんなで Action！」の参加者数 延べ 73 人      過去 3 年間の平均値 59 人 (H28 : 59 人、H27 : 65 人、H26 : 54 人)      ②青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成活動方針（単年度方針）を定め関係機関・団体に協力を依頼した。      ③非行防止街頭キャンペーンは、高校生の参加が増加した。      ④成人式は、新成人により組織される実行委員（11 人）により、企画・運営を行った。</p>
課題及び今後の取組の方針	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①関係機関との連携      •引き続き関係機関や団体と連携しながら、青少年健全育成活動に努める。      •能代市民会議等の会員の高齢化が進んでいるため、市内の若者団体「のしろユースカレッジ」等と連携し、非行防止キャンペーン等の活動への参加を働きかけ、互いの活動が充実するよう支援していく。</p> <p>②成人式実行委員会の充実      新成人で構成される実行委員会を通し、大人の仲間入りをするという自覚を持つことを促し、また、新成人の企画運営が仲間づくりのきっかけとなるよう支援する。</p>
学識経験者の意見	<p>○若者を主体にした活動が望まれる。成人式実行委員会の取り組みはとてもよいものなので、能代市民会議も若者が構成員となるように取り組んでほしい。高校生（生徒会役員等）を構成員にしてもいいのではないか。</p> <p>●社会参加活動促進事業「みんなで Action!」では、あいさつ運動や非行防止街頭キャンペーンなどに中学生や高校生を含む延べ 73 人という過去 3 年間の平均値を超える参加者があった。事業についての周知が図られた結果と思う。</p> <p>●河川や沼等 135 箇所に事故防止を呼びかける看板が設置されたことも活動の大好きな成果と思う。今後とも学校や地域からの要望等をもとに、年次計画で看板の設置に努めてほしい。</p>

## 【 子ども館 】

基本目標	3 学校・家庭・地域・行政等が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																																																															
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進																																																															
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指します。																																																															
事業・取組名	子ども館活動事業																																																															
目標値	1 来館者数 38,000 人を目指します。 2 講座受講者の評価が「満足」である割合 90%以上を目指します。																																																															
前年度の意見と対応	<p>■魅力的な取組の実施  ⇒各種ロケット講座、ロボットを用いたプログラミング講座等、利用者のニーズに応じた講座の開催や体験学習コーナーの常設を実施します。</p> <p>また、ホームページへの掲載やメール配信、報道機関との連携等、積極的な情報発信に努めます。</p> <p>■プラネタリウムのデジタル化  ⇒設備更新により導入したデジタルプラネタリウムを活用し、事業の充実と利用の拡大を図ります。</p> <p>■小学校の理科担当者との連携  ⇒理科教育の拠点として、小学校理科担当者研修会を実施し、理科担当者の情報交換の場の提供に努めます。</p> <p>■宇宙科学への関心を高める工夫  ⇒プラネタリウムの投映、各種ロケット講座、宇宙検定、館内ウォークラリー等を実施し、子どもたちが楽しみながら宇宙科学への関心を高められるよう事業内容の充実に努めます。</p>																																																															
事務事業の実績	<p>1 来館者数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総来館者数</td> <td>45,225人</td> <td>45,863人</td> <td>45,843人</td> </tr> <tr> <td>プラネタリウム観覧者数</td> <td>6,581人</td> <td>6,256人</td> <td>5,484人</td> </tr> <tr> <td>事業活動参加者数</td> <td>120件、5,631人</td> <td>110件、6,691人</td> <td>139件、6,401人</td> </tr> <tr> <td>プラネタリウム個体観覧者数</td> <td>49件、1,803人</td> <td>55件、1,834人</td> <td>60件、2,067人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 講座満足度アンケート【5段階評価で平均 4.84 (4.80)】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>ふつう</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数(人)</td> <td>487(373)</td> <td>52(41)</td> <td>17(18)</td> <td>2(3)</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>87.3(85.8)</td> <td>9.3(9.4)</td> <td>3.0(4.1)</td> <td>0.4(0.7)</td> <td>0(0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()は 28 年度数値</p> <p>3 イベント・講座等実績 ※()は 28 年度実績</p> <p>(1) 主なイベント・講座</p> <table> <tbody> <tr> <td>・かがくあそび</td> <td>19件</td> <td>945人</td> <td>(12件)</td> <td>530人</td> </tr> <tr> <td>・「はやぶさの日」イベント</td> <td>2件</td> <td>96人</td> <td>(2件)</td> <td>107人</td> </tr> <tr> <td>・コズミックカレッジ</td> <td>1件</td> <td>48人</td> <td>(1件)</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>・各種ロケット教室</td> <td>12件</td> <td>159人</td> <td>(12件)</td> <td>144人</td> </tr> <tr> <td>・ロボット・プログラミング講座</td> <td>19件</td> <td>169人</td> <td>(12件)</td> <td>124人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	28年度	27年度	総来館者数	45,225人	45,863人	45,843人	プラネタリウム観覧者数	6,581人	6,256人	5,484人	事業活動参加者数	120件、5,631人	110件、6,691人	139件、6,401人	プラネタリウム個体観覧者数	49件、1,803人	55件、1,834人	60件、2,067人	項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足	人数(人)	487(373)	52(41)	17(18)	2(3)	0(0)	割合(%)	87.3(85.8)	9.3(9.4)	3.0(4.1)	0.4(0.7)	0(0)	・かがくあそび	19件	945人	(12件)	530人	・「はやぶさの日」イベント	2件	96人	(2件)	107人	・コズミックカレッジ	1件	48人	(1件)	40人	・各種ロケット教室	12件	159人	(12件)	144人	・ロボット・プログラミング講座	19件	169人	(12件)	124人
区分	29年度	28年度	27年度																																																													
総来館者数	45,225人	45,863人	45,843人																																																													
プラネタリウム観覧者数	6,581人	6,256人	5,484人																																																													
事業活動参加者数	120件、5,631人	110件、6,691人	139件、6,401人																																																													
プラネタリウム個体観覧者数	49件、1,803人	55件、1,834人	60件、2,067人																																																													
項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足																																																											
人数(人)	487(373)	52(41)	17(18)	2(3)	0(0)																																																											
割合(%)	87.3(85.8)	9.3(9.4)	3.0(4.1)	0.4(0.7)	0(0)																																																											
・かがくあそび	19件	945人	(12件)	530人																																																												
・「はやぶさの日」イベント	2件	96人	(2件)	107人																																																												
・コズミックカレッジ	1件	48人	(1件)	40人																																																												
・各種ロケット教室	12件	159人	(12件)	144人																																																												
・ロボット・プログラミング講座	19件	169人	(12件)	124人																																																												

	<p>(2) 特別イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のしろ銀河フェスティバル 787人(898人)</li> <li>(内容) 水ロケット製作・打ち上げ体験 34人(52人)</li> <li>　　プラネタリウム無料上映 4回 231人(6回 248人)</li> <li>　　紙筒ロケット 145人(116人)</li> <li>　　フィルムケースロケット 144人(132人)</li> <li>　　2階宇宙館のボランティア等による説明</li> </ul> <p>(3) 宇宙科学への関心を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙検定の実施</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>上級</th><th>中級</th><th>初級</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td><td>11人(9人)</td><td>13人(20人)</td><td>108人(32人)</td></tr> <tr> <td>合格者数</td><td>9人(4人)</td><td>10人(6人)</td><td>63人(20人)</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども館ウォークラリーの実施 155人(88人)</li> <li>・2階展示室ガイドの実施 10件 190人(27件 391人)</li> </ul> <p>(4) 理科教育の拠点としての役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校理科担当者研修会 8回(4回)</li> </ul>		上級	中級	初級	参加者数	11人(9人)	13人(20人)	108人(32人)	合格者数	9人(4人)	10人(6人)	63人(20人)
	上級	中級	初級										
参加者数	11人(9人)	13人(20人)	108人(32人)										
合格者数	9人(4人)	10人(6人)	63人(20人)										
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①プラネタリウムの観覧者数は増加したが、総来館者数は減少した。主な原因としては、日程が合わず前年度より回数が減少した事業や、協力団体の都合により中止した事業があり、事業参加者数が減少したためと考えられる。</p> <p>②講座満足度アンケートは「満足」「やや満足」と答えた参加者の割合が90%を超えており、引き続き事業内容の充実に努めたい。</p>												
課題及び今後の取組の方針	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①宇宙教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ロケットの製作・打ち上げ</li> <li>・JAXAや日本宇宙少年団ノシロ分団等の関係機関・団体との連携</li> <li>・宇宙教育の情報発信 (JAXA動画ニュース等の放映)</li> </ul> <p>②小・中学校との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プラネタリウム (プラネタリウムを用いた天体関連の授業) の実施</li> <li>・小学校理科担当者研修会の実施</li> <li>・職場体験・インターンシップの受け入れ</li> </ul> <p>③デジタルプラネタリウムの活用</p> <p>プラネタリウム番組の投映のほか、日月食などの天文現象、3次元シミュレーションによる宇宙空間の飛行体験や太陽系の俯瞰など、デジタルプラネタリウムならではの多彩な機能を活用した事業を実施し、利用の拡大を図る。</p> <p>④1階展示スペースの充実</p> <p>現在1階ホールに展示している体験学習コーナーを、自然科学館の植物標本や動物剥製のスペースを縮小し、移設設置を推進する。</p>												

	<p>⑤理科教育の拠点としての役割</p> <p>小学校の理科担当者が気軽に授業の相談や実験器具の使い方を学べることができる場と情報の提供に努める。</p>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業活動の参加者数が減少しているので、日程や協力団体との連携を強化していくようにお願いしたい。</li> <li>○展示スペースについて、体験学習コーナーの拡大など、ニーズに合った配置換えをお願いしたい。</li> <li>●講座受講者の評価では「満足」と答えた人の割合が90%を上回り目標値を達成した。「かがくあそび」や「ロボット・プログラミング講座」の実施件数や参加者数の増加等がそのことを物語っている。</li> <li>●プラネタリウム観覧者数が年々増加している。新たに導入したデジタルプラネタリウムを活用し、さらなる利用の拡大を図ってほしい。</li> <li>●小学校理科担当者研修会が、前年度の2倍に当たる8回の開催となった。理科担当指導主事を核とし、理科教員の研修の場としての機能がさらに充実することを期待したい。</li> </ul>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	3 学校・家庭・地域・行政等が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																																	
施策項目	② 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援																																	
方針・目標	核家族化や少子化、産業構造の変化など、子どもや家庭を取り巻く状況が大きく変化しており、保護者に対し様々な手法で学習機会を提供し、家庭教育を支援します。																																	
事業・取組名	家庭教育支援事業																																	
目標値	保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数を、前年度との比較で同等あるいは上回ります。																																	
前年度の意見と対応	<p>■中学生全体を対象とした講座の開催  ⇒学校訪問の際に事業の趣旨を説明し、全生徒が命の大切さを取り上げた講座等を受講できるよう働きかけています。学校側も理解を示し、講座を授業に取り入れています。また、29年度からは、地元厚生医療センターの協力を得て、助産師を講師にお願いしています。引き続き、全生徒が命の大切さについて学べるよう各学校を支援していきます。</p> <p>■家庭教育通信「Only one」について  ⇒子育て中の親が抱える悩みに注目しながら参考となる内容を提供し、家庭教育支援の一助となればと考えております。</p>																																	
事務事業の実績	<p>1 庁内連携  (1) 家庭教育支援事業推進会議を開催（3月）  (2) 家庭教育支援事業報告書を作成し関係者に配布（4月）</p> <p>2 情報提供  (1) 家庭教育通信「Only one」を発行（3回）  (2) 「ちよこっと家庭教育通信」を発行・配布（1件2種）</p> <p>3 学習機会の提供  (1) 家庭教育関係講座の実施</p> <p style="text-align: right;">(単位：件、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象</th> <th rowspan="2">講座名</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">28年度</th> </tr> <tr> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配偶者</td> <td>家庭教育関係講座</td> <td>22</td> <td>791</td> <td>22</td> <td>492</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">次代の親</td> <td>家庭教育関係講座</td> <td>4</td> <td>271</td> <td>5</td> <td>496</td> </tr> <tr> <td>社会参加活動推進事業 「みんなで Action!」 (命の大切さ事業含む)</td> <td>22</td> <td>中高生 165 受入団体 528</td> <td>18</td> <td>中高生 112 受入団体 556</td> </tr> <tr> <td>祖父母</td> <td>じじばばの孫かて講座</td> <td>1</td> <td>22</td> <td>1</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 「家庭教育に関する・家読におすすめの本」の貸出  (H29) 利用者 125人 貸出冊数 207冊  (H28) 利用者 110人 貸出冊数 173冊</p> <p>4 人材の育成  祖父母等への学習機会の提供  「じじばばの孫かて講座」の実施（参加者 22人）</p>	対象	講座名	29年度		28年度		講座数	参加者数	講座数	参加者数	配偶者	家庭教育関係講座	22	791	22	492	次代の親	家庭教育関係講座	4	271	5	496	社会参加活動推進事業 「みんなで Action!」 (命の大切さ事業含む)	22	中高生 165 受入団体 528	18	中高生 112 受入団体 556	祖父母	じじばばの孫かて講座	1	22	1	38
対象	講座名			29年度		28年度																												
		講座数	参加者数	講座数	参加者数																													
配偶者	家庭教育関係講座	22	791	22	492																													
次代の親	家庭教育関係講座	4	271	5	496																													
	社会参加活動推進事業 「みんなで Action!」 (命の大切さ事業含む)	22	中高生 165 受入団体 528	18	中高生 112 受入団体 556																													
祖父母	じじばばの孫かて講座	1	22	1	38																													

点検・評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る
	<b>[説明]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数 22回 (H28: 22回)</li> <li>② 祖父母等を対象とした「孫かて講座」は、例年の救命講習と新たに「孫との触れ合いあそび」を実施。受講者同士で遊びを実践し、大変好評であった。</li> <li>③ 家庭教育関係講座のアンケート結果は、「とても参考になった」等の評価が多い。</li> <li>④ 家庭教育通信の認知度は非常に高い。特に子育て家庭でよく読まれている。</li> </ul>
課題及び今後の取組の方針	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ( )
方針	<b>[具体的な課題及び取組]</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①中学生の保護者を対象とする学習機会の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭教育に関する本・家読におすすめの本」の貸出を継続する。</li> <li>・保護者へ直接情報が届く周知方法を検討する。</li> </ul> </li> <li>②プレ親（次代の親となる中学生・高校生）を対象とした講座等の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・命の大切さ事業（赤ちゃんとのふれあい）を継続する。</li> <li>・プレ親（中学生）を対象とした性教育講座、命の大切さ講座について、全生徒が受講できるよう、引き続き学校に働きかける。</li> </ul> </li> </ul>
学識経験者の意見	<p>○ぜひ中学生全員受講できるように、学校、教育委員会学校教育課と連携した取り組みを強めてほしい。学校の教育課程の中にきちんと位置づけてもらうことが必要かと思う。次代の親向けの家庭教育関係講座の参加者数が大きく減少しているところが気になる。</p> <p>●保護者を対象とする家庭教育関係講座の参加者数が、前年度よりも大幅に増加した。中学校における親子を対象とした講座の実施がその要因と思う。今後とも親子が一緒になって受講できるような講座の開設を検討してはどうか。</p> <p>●プレ親（中学生）を対象とした性教育講座や命の大切さについての講座は、今後とも全中学生が受講できるよう、学校への働きかけをお願いしたい。</p>

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基 本 目 標	3 学校・家庭・地域・行政等が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施 策 項 目	③ 読書活動の推進
方 針 ・ 目 標	能代市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするため、子どもの発達段階に応じた取組を推進します。
事 業 ・ 取 組 名	読書活動推進事業
目 標 値	<p>子ども読書活動推進計画における指標である「不読率（1ヵ月に1冊も本を読まない子どもの割合）の低下」を目指します。（県学習状況調査による不読率を県平均より下回るようにします。）</p> <p>◆参考指標：小学2年生「本を読むことが好きか」 小学6年生「家や図書館で本を読む割合」 中学3年生「好きな本・忘れられない本はあるか」 高校3年生「あなたにとって本は必要か」</p> <p>※小学6年生は全国学力学習状況調査結果、それ以外は読書実態調査結果より</p>
前年度の意見 と 対 応	<p>■学校、図書館との連携 ⇒引き続き、指定管理者、学校や家庭、地域との連携を図りながら、各種事業を展開します。</p> <p>■不読率について ⇒不読率は県平均を下回り、目標を達成することができています。家読ノート、ブックスタンド製作、P O P講座など子ども達が取組みやすい事業を学校や家庭と連携し取組んでおり、引き続き、家読をはじめとする各種活動や児童図書の充実に努めます。</p> <p>■広報掲載「わたしのおすすめの一冊」について ⇒27年度に市長からスタートし、読み聞かせ団体、地域おこし協力隊、小学校関係者、中学校関係者、今年度は保育所・幼稚園関係者に掲載をお願いしています。</p>
事務事業の 実 績	<p>「能代市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組を行った。</p> <p>1 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 読書活動推進関係講座の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報リテラシー講座（11/29 実施 参加者 22人）</li> <li>・図書館見学ツアーハイ（8/16、12/27 実施 参加者延べ 17人）</li> </ul> </li> <li>(2) 能代版読書記録ノート「能代っ子家読ノート」の作成・配布           <ul style="list-style-type: none"> <li>・小1～4年生用 1,600部、小5～中学生用 2,200部を作成</li> <li>・家読ノート：全小学校児童・中学校生徒へ配布（6月上旬）</li> <li>・ノートのデータをPDF化し、市のホームページに掲載</li> <li>・うちどくポップ大賞の実施（応募者 59人）</li> </ul> </li> <li>(3) 秋田杉製ブックスタンド作成・配布           <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学4年生を対象に、秋田杉製ブックスタンドキットを配布（413セット）</li> <li>・図工の授業で組み立てを行ってもらった。</li> </ul> </li> <li>(4) うちどくDAY（毎月第3日曜日）のポスターを作成し、小中学校及び関係機関へ配布した。</li> </ul> <p>2 環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「わたしのおすすめの一冊」図書紹介（広報のしろ掲載） 29年度は学校関係に紹介をお願いし、毎月10日号へ掲載した。（全11回）</li> </ul>

	<p>(2) 指定管理者等と連携した図書館の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と連携した事業の開催や定期的な打ち合わせを実施することで、図書館の運営・取組実施への連携・協力に努めた。</li> <li>・教育研究所と連携しながら、学校図書支援員研修会へ参加し助言等を行った。</li> </ul>																								
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      ■ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明] 不読率は、中学1年以外、県平均を下回った。 【平成29年度県学習状況調査 質問紙結果 P.3 の表の再掲】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>能代市</th> <th>県平均</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>1.7%</td> <td>3.0%</td> <td>-1.3P</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>1.6%</td> <td>4.0%</td> <td>-2.4P</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>2.2%</td> <td>4.2%</td> <td>-2.0P</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>8.9%</td> <td>7.6%</td> <td>1.3P</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>7.7%</td> <td>8.5%</td> <td>-0.8P</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考指標(H27調査結果) :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学2年生「本を読むことが好き・どちらかといえば好き」97.6%</li> <li>小学6年生「家や図書館で本を読む割合」83.3%</li> <li>中学3年生「好きな本・忘れられない本がある」56.1%</li> <li>高校3年生「自分にとって本は必要だ」64%</li> </ul>	学年	能代市	県平均	比較	小学4年	1.7%	3.0%	-1.3P	小学5年	1.6%	4.0%	-2.4P	小学6年	2.2%	4.2%	-2.0P	中学1年	8.9%	7.6%	1.3P	中学2年	7.7%	8.5%	-0.8P
学年	能代市	県平均	比較																						
小学4年	1.7%	3.0%	-1.3P																						
小学5年	1.6%	4.0%	-2.4P																						
小学6年	2.2%	4.2%	-2.0P																						
中学1年	8.9%	7.6%	1.3P																						
中学2年	7.7%	8.5%	-0.8P																						
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/>拡充      ■継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>子ども読書活動推進計画に基づき、学校・家庭・地域の連携を図りながら施策を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家読ノートの利用が高まるよう、家庭で実践しやすい取組を実施する。</li> <li>・学年が上がるにつれて、読書が身近でなくなる傾向が見られる。中学生・高校生を対象とする取組を増やしていく。</li> </ul>																								
学識経験者の意見	<p>○様々な取り組みの成果が上がっていると思われる。 (この項目はI-①と合体してはどうでしょうか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「能代っ子家読ノート」や「秋田杉製ブックスタンド」を作成・配付したり、「うちどくDAYのポスター」を作成したりするなど、啓発活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>●広報のしろに、「わたしのおすすめの一冊」のコーナーを設けて、教育機関をはじめ各種団体の関係者に掲載をお願いしているが、多岐にわたって様々な分野の一冊が紹介され、毎月興味をもって読ませてもらっている。</li> </ul>																								

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	3 学校・家庭・地域・行政等が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施策項目	④ 地域活動に必要な学習機会の提供
方針・目標	子どもの体験活動等に関わるコーディネーター等を対象に学習機会及び情報交換の場を提供し、資質向上を図り体験活動の推進・充実を図ります。
事業・取組名	コーディネーター等研修事業
目標値	放課後子ども教室コーディネーター会議を開催し、子ども達の体験活動に生かします。
前年度の意見と対応	<p>■コーディネーターの力量向上、会議の開催について  ⇒年度初めにコーディネーター会議を開催し、事業開始前に役割を再確認するとともに、情報交換により幅広い視野で体験活動を実施できるよう努めております。</p> <p>■学校、コーディネーターとの連携  ⇒学校の協力を得ながら事業を推進しており、引き続き、事業が円滑に行われるよう、連絡調整等を図っていきたいと考えております。</p>
事務事業の実績	<p>1 放課後子ども教室コーディネーター会議 (4/26)  参加者 10人 (12人対象)  内 容 コーディネーターの役割や情報交換</p> <p>2 普通救命講習会 (6/26 から 5回)  参加者 32名  内 容 プール開放や体育館開放等に伴う安全管理員の任務及び救命法</p>
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      ■ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①年度初めの会議は、各地域で活動しているコーディネーターが一堂に会し、前年度の活動内容を振り返るとともに、新年度の活動や役割を確認し合うことができる有意義な会議であった。  放課後子ども教室コーディネーター会議参加者 10人 (12人対象)  参加率 83%</p> <p>②普通救命講習会は、夏休みのプール開放前に実施。監視にあたる安全管理員全員が受講し、事故を未然に防ぐ対策を講じている。</p>
課題及び今後の取組の方針	<p><input type="checkbox"/>拡充      ■継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①研修・講習内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々のコーディネート力を尊重しつつ、豊富な社会経験を持つ外部人材との協力も得ながらスキルアップを図る。</li> <li>・県主催の研修への参加を奨励し、市外の取組も参考に幅広い視野での活動ができるよう促す。</li> <li>・他の体験活動への参加等によりコーディネーター同士の連携強化を図る。</li> </ul>

	<p>②学校・家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター等による学校訪問により学校との連携を密にし、より充実した活動とする。</li> <li>・地域の人材を幅広く発掘し、より一層の連携を深める。</li> </ul>
学識経験者の意見	<p>○放課後子ども教室や、子どもたちの安全管理の充実に向けて、引き続き取り組んでいただけるようお願いしたい。 (放課後子ども教室は、36 頁の項目に合体し、普通救命講習会はスポーツ関係などに移して統合してはどうでしょうか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの体験活動におけるコーディネーターの果たす役割は大きい。コーディネーターを核として学校や地域の方々をどのように巻き込んでいくかが難しいところである。年度初めの「放課後子ども教室コーディネーター会議」では、お互いの実践を紹介し合うことで活動の幅を広げられるようにしたい。</li> <li>●普通救命講習会は、プール開放や体育館開放に伴う安全管理員の役割や救命法について学べる貴重な機会であり、今後とも続けていってほしい。</li> </ul>

【 学校教育課 】 【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基 本 目 標	3 学校・家庭・地域・行政等が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施 策 項 目	⑤ 食育を通した健全な子どもの育成
方針・目標	(1) 毎日3食きちんと食べよう (2) 健康的でバランスのよい食事をしよう (3) 食の安全・安心に関する知識を身につけよう (4) 地元食材を通じて能代を知り、旬のものを食べよう (5) 計画的な食育推進運動を進めよう
事 業・取組名	1 学校給食事業 2 食について理解を深める体験活動事業
目 標 値	1 毎日、朝食を食べる子どもの割合 90%以上を維持します。 2 1日1回は家族と一緒に食事をする割合 前年度比を上回ります。 3 学校給食における地場農産物の使用割合を維持します。
前年度の意見と対応	<p>■時々朝食を食べない子どもへの対応について ⇒調査等により子どもの実態を把握し、きめ細かな対応に努めるとともに、朝食の大切さや栄養のバランス等について学べる機会の拡充を図ります。</p> <p>■給食だよりの配布の仕方等について ⇒家庭で話題にできる内容の工夫に努めます。</p>
事務事業の実績	<p>1 毎日3食きちんと食べよう ・給食献立表を通して、朝ごはんの効果等の情報提供を行った。 (36回) ・栄養教諭が給食時間に訪問し、食事に関して情報提供を行った。 (7回) ・「早寝・早起き、朝ご飯」を推進した。</p> <p>2 健康的でバランスのよい食事をしよう ・栄養教諭による、食事と健康に関する食育授業を行った。 (33回) ・給食だよりの毎月発行により、家庭への情報提供を行った。 (36回)</p> <p>3 食の安全・安心に関する知識を身につけよう ・給食保護者試食会を開催し、食育に関する講話、資料提供を行った。 (5回)</p> <p>4 地元食材を通じて能代を知り、旬のものを食べよう ・放課後子ども教室において食に関する講座を開催した。 ・中央公民館、ニッ井公民館において食に関する講座を開催した。 ・給食食育デー（毎月19日）において地場産物を使った献立を提供した。 (16回、延べ276人) (14回、延べ239人)</p> <p>5 計画的な食育推進運動を進めよう ・食育全体計画の作成 ・食育指導に関する教諭等への指導・助言</p>

点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る														
評価項目	<p>[説明]</p> <p>①毎日、朝食を食べる子どもの割合【全国学力・学習状況調査】</p> <table border="1" data-bbox="473 332 1092 422"> <thead> <tr> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97.2%</td> <td>96.4%</td> <td>0.8ポイント</td> </tr> </tbody> </table> <p>ほとんどの児童生徒が朝食を摂っていて、良好な食生活である。</p> <p>②1日1回は家族と一緒に食事をする割合【H29年度から調査開始】</p> <table border="1" data-bbox="473 500 663 590"> <thead> <tr> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ほとんどの児童生徒が家族と一緒に食事を摂っていて、良好な食生活の環境になっている。</p> <p>③学校給食における地場農産物の使用割合【学校給食物資使用調査】</p> <table border="1" data-bbox="473 713 1092 803"> <thead> <tr> <th>29年度</th> <th>28年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31.2%</td> <td>36.3%</td> <td>△5.1ポイント</td> </tr> </tbody> </table> <p>天候不良により地場産によるものが確保できなかつたことにより、使用割合が減少した。</p>	29年度	28年度	比較	97.2%	96.4%	0.8ポイント	29年度	95.6%	29年度	28年度	比較	31.2%	36.3%	△5.1ポイント
29年度	28年度	比較													
97.2%	96.4%	0.8ポイント													
29年度															
95.6%															
29年度	28年度	比較													
31.2%	36.3%	△5.1ポイント													
課題及び今後の取組の方針	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①毎日、朝食を食べる子どもの割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭による栄養指導で、朝食の大切さや栄養のバランス等について学ぶことで、朝食を摂る児童生徒が100%になるよう働きかけていく。</li> <li>・食の原点は家庭での食事であることから、保護者へのレシピ配付や親子で参加する教室の開催、給食試食会での栄養士の講話など、家庭で話題にできる講座の実施を推進していく。</li> </ul> <p>②1日1回は家族と一緒に食事をする割合</p> <p>孤食の児童生徒数のゼロを目指すために、給食だより等を活用して保護者に周知し啓蒙を図る。</p> <p>③学校給食における地場農産物の使用割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産野菜は安定した量が確保できないため、栄養士と情報を共有しながら、地場産野菜の収穫時期に合わせた献立により使用率拡大に努めていく。</li> <li>・JAや産地直売所、農業振興課からの情報を得ながら、どのような連携ができるか検討していく。</li> </ul>														
学識経験者の意見	<p>○毎日朝食を食べる習慣のない子どもが3%、1日1回も家族と一緒に食べるところがない子どもが5%近くもいることはショッキングである。家庭の様々な事情もあるので、プレッシャーをかけることにならないよう配慮しながら、家庭を支援できる体制を作ってほしい。</p> <p>●栄養教諭による食育授業については、可能な限りすべての学校の全児童生徒を対象として行ってほしい。その際には、学級担任がどのような役割を担うかについて明確にしたうえで授業に臨みたいものである。</p> <p>●「給食だより」は、工夫されたレイアウトになっており、家庭への食育に関する情報誌的な役割を担っている。</p>														

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	① 伝統芸能の継承
方針・目標	郷土の伝統芸能を市民共有の財産として、その保存・継承に取り組みます。
事業・取組名	民俗芸能振興事業
目標値	能代市民俗芸能連合会の構成団体数を維持します。
前年度の意見と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■能代市民俗芸能連合会ができるだけ長く継続していけるように取り組んではいい           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒能代市民俗芸能連合会と連携しながら、引き続き取り組みます。</li> </ul> </li> <li>■今後も、連合会の後継者育成交流会等を通して、各団体間で情報交換ができるようにしてほしい           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒引き続き連合会と連携し、後継者育成等の課題に取り組みます</li> </ul> </li> <li>■子ども民俗芸能発表会の継続開催           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒継続して発表会の開催を行います。</li> </ul> </li> </ul>
事務事業の実績	<p>1 ①合同発表会（能代地区） 日時：10/8 会場：能代市総合体育馆（産業フェア会場） 出演団体数：4団体</p> <p>②合同発表会（二ツ井地区） 日時：10/22 会場：きみまち阪公園 出演団体数：7団体</p> <p>2 後継者育成事業 各保存会で実施 単位保存会数：18団体</p> <p>3 用具整備補助 小掛郷土芸能保存会の用具修繕事業への補助 内 容：駒踊り用駒頭修理（2駒） 補助額：200,000円</p> <p>4 子ども民俗芸能発表会 日時：11/3 会場：二ツ井伝承ホール 発表：民俗芸能6団体</p>
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      ■ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・27年に会員数の減少と会員の高齢化により、活動の継続が困難となったため 1団体が脱会し、現在の連合会構成団体数は18となっている。</li> <li>・連合会の合同発表会や子ども民俗芸能発表会での出演団体数は、昨年並みを維持している。</li> </ul>
課題及び 今後の取組の方 向性	<p><input type="checkbox"/>拡充      ■継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>会員数の減少と会員の高齢化は各保存会共通の課題であるが、即効的な対応は困難であり、連合会と連携し活動を支援するとともに、用具整備支援など単位保存会への支援も継続していく。</p>

学識経験者の意見	<p>○高齢化の影響は避けがたい。後継者育成の観点から、可能なところで、学校との連携を図るなどの工夫をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●現在の連合会構成の18団体は、会員の減少と高齢化が進む中、よく頑張っていると思う。今後とも連合会の後継者育成交流会等を通して、各団体の支援に努めてほしい。</li> <li>●子ども民族芸能発表会に出演する子どもたちの頑張りと、日頃指導に当たっている連合会会員の皆さんへの熱意にエールを送りたい。</li> </ul>
----------	--

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	② 文化財保護事業の推進
方針・目標	郷土の文化財を市民共有の財産として、その保存、継承に取り組みます。
事業・取組名	文化財保護事業
目標値	1 文化財がき損、散逸しないよう保護に努め、現在の指定・登録文化財数を維持します。 2 市民の文化財保護意識の高揚を図るため、関係団体と連携して歴史探訪会を開催し、参加者の満足度4.5以上（5段階評価）を目指します
前年度の意見と対応	<p>■市民の文化財保護意識の高揚のための工夫 ⇒関係団体と連携し、引き続き取り組みます。</p> <p>■文化財の探訪会の充実（保護協会との連携） ⇒文化財保護協会等との共催により、市民ニーズにあったプランニングに努めます。</p> <p>■指定文化財の確保に向けた情報収集 ⇒文化財保護協会からの情報や、県等の文化財調査の結果を活用します。</p>
事務事業の実績	<p>1 指定・登録文化財数 99件</p> <p>2 歴史探訪会            • 6/24「八峰町八森の本館地域」参加者29人            • 10/29「北秋田市の文化財を巡る」参加者36人</p> <p>3 関係団体の活動支援            • 秋田県文化財保護協会能代支部            • のしろ檜山周辺歴史ガイドの会            • ニツ井町文化財保護協会</p>
点検・評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る    <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり    <input type="checkbox"/>目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>歴史探訪会については、秋田県文化財保護協会能代支部と共に、市民のニーズにあったテーマを設定できた（参加者の満足度評価は、5段階で4.8であった）。</p>
課題及び今後の取組の方針性	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]            引き続き指定文化財の市外流出の防止を図るために、文化財所有者の情報収集に努めるとともに、市外所有者には市への寄託を依頼する。歴史探訪会についても引き続き参加者の満足できるテーマを設定し、市民の文化財保護意識の高揚を図っていく。</p>
学識経験者の意見	<p>○文化財保護や、住民の文化財保護意識の高揚に向けて、引き続き取り組みを継続していくようお願いしたい。</p> <p>●歴史探訪会参加者の満足度評価が4.8と目標値を上回った。市民のニーズに合ったテーマを設定できた結果と思う。今後とも関係団体と連携して歴史探訪会を開催し、市民の文化財保護意識の高揚に努めてほしい。</p>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	② 文化財保護事業の推進
方針・目標	国指定史跡檜山安東氏城館跡を保護管理するとともに歴史学習の場として整備活用します。
事業・取組名	檜山安東氏城館跡保存管理事業
目標値	1 檜山城跡の整備の指針となる環境整備計画に基づき、整備・発掘調査を実施します。 2 史跡の管理のための除草、伐木を実施します。
前年度の意見と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■文化財保護に向けて着実に取り組まれているので、今後も活用方策、PR方策等について検討してほしい。 ⇒指導委員会や有識者の指導のもと、調査・整備を進めるとともに、効果的な情報発信の手法や時期について検討します。</li> <li>■今後も、檜山城跡の整備及び発掘調査を、計画どおり進めてほしい。 ⇒調査整備委員会の指導を得ながら、整備・調査を進めます。</li> <li>■史跡の管理のための除草の実施 ⇒さらに除草面積を拡大します。</li> </ul>
事務事業の実績	1 檜山城跡の発掘調査の実施 調査期間：6/12～9/26（40日間） 2 史跡の除草を実施 檜山城跡：遺構箇所 8ha × 2回、遊歩道 2回 大館跡：遺構箇所 7ha × 1回 3 檜山城跡の整備の実施 景観伐木：274本 案内板等の設置 案内サイン：1基、車止め：1基 地形レーザー測量
点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る      ■ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づき、案内板等の設置、景観伐採及び檜山城跡の発掘調査を計画どおり実施できた。</li> <li>・除草については、檜山城跡の遺構箇所除草面積を前年度比 1ha 増やすことができ、見学者の利便性を高めることができた。</li> </ul>
課題及び今後の取組の方針	<input type="checkbox"/> 拡充      ■継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①整備及び発掘調査体制の充実に努める。 調査整備委員会の開催及び助言者からの指導を随時実施する。</li> <li>②史跡への関心を高めるための情報発信のあり方の検討 様々な手法によるタイムリーな情報提供に努める。</li> </ul>

学識経験者の意見	<p>○城館跡の保存管理、整備に努めながら、住民の関心を高め、参観等を増やす ように、引き続き取り組みを継続してほしい。</p> <p>○関心を高める観点から、学校や諸団体との連携を強めるようにお願いしたい。</p> <p>●景観伐採や案内板等の設置を行うなど、環境整備計画に基づいた檜山城跡の整 備が行われている。</p> <p>●今後とも檜山城跡の整備及び発掘作業を計画どおり進めるとともに、市民の史 跡への関心を高めるため、タイムリーな情報発信に努めてほしい。</p>
----------	---

## 【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	② 文化財保護事業の推進
方針・目標	文化財保護法に則り、埋蔵文化財の保存に努めます。
事業・取組名	埋蔵文化財調査事業
目標値	開発行為に関わる確認調査・発掘調査を実施します。
前年度の意見と対応	<p>■埋蔵文化財の適切な保護 ⇒文化財保護法等の法令に則り、埋蔵文化財の保護に努めます。</p> <p>■開発業者側との緊密な連携 ⇒事業着手前と着手時に協議をし、情報共有を行います。</p>
事務事業の実績	<p>1 本発掘調査：1件 下田平地区（大沢Ⅰ・Ⅱ遺跡）</p> <p>2 試掘（確認）調査：3件 八森坂Ⅰ遺跡近接地、蟻ノ台Ⅱ遺跡近接地、船沢遺跡</p> <p>3 試掘（分布）調査：5件 東雲原地区、小掛鬼神地区、河戸川浅内地区、個人住宅、東北電力㈱鉄塔建替</p> <p>4 立会調査：8件 梯ノ台遺跡、堤下遺跡、逆川遺跡、成合E,D,A遺跡、前田Ⅱ遺跡、下大野Ⅰ遺跡</p>
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る    <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり    <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明] 本発掘調査に係る調査報告書を刊行することができた。</p>
課題及び今後の取組の方針性	<p><input type="checkbox"/>拡充    <input checked="" type="checkbox"/>継続    <input type="checkbox"/>廃止検討    <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組] 文化財保護法に則り、埋蔵文化財保護事務を進める。</p>
学識経験者の意見	<p>○埋蔵文化財の発掘など、各種調査を継続的に進めると同時に、さらなる市民への情報発信をお願いしたい。</p> <p>●本発掘調査や試掘（確認）調査など、合わせて17件の調査が行われた（行われている）ことを知り、その件数の多さに驚いているところである。それぞれの調査に当たっては、文化財保護法に則り、適切に保護事務を進めてほしい。</p>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興																																									
施策項目	③ 文化芸術の振興																																									
方針・目標	市民の文化芸術活動への支援をとおして、文化芸術の振興に取り組みます。																																									
事業・取組名	市民文化振興事業																																									
目標値	文化月間の入場者数展示部門 5,000人、舞台部門 800人を目指します。																																									
前年度の意見 と対応	<p>■市民芸術文化の振興、向上に向けた取組 ⇒関係団体と連携し、引き続き取り組みます。</p> <p>■指定管理者と連携した取組 ⇒文化月間等、能代市芸術文化協会と連携し市民の芸術文化の振興に努めます。</p>																																									
事務事業の実績	<p>1 文化月間の設定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">区分</th> </tr> <tr> <th>展示部門</th> <th>舞台部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>9団体 入場者数 8,571人</td> <td>18団体 入場者数 806人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>11団体 入場者数 6,008人</td> <td>19団体 入場者数 847人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>11団体 入場者数 6,123人</td> <td>19団体 入場者数 748人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10団体 入場者数 5,407人</td> <td>17団体 入場者数 795人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>10団体 入場者数 3,603人</td> <td>16団体 入場者数 760人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 芸術文化団体への支援 能代ミュージカル制作・公演費補助 能代ミュージカル・キッズ公演・練習会場使用料負担 各種助成事業や国民文化祭参加募集の周知 体裁</p> <p>3 市所蔵絵画展の開催</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>期日</th> <th>展示テーマ</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>10/25~30</td> <td>平成29年度能代市所蔵絵画展</td> <td>チラシ配布 76枚 芳名帳記帳 42組 土・日来場 48名</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>12/3~11</td> <td>このはなさくや～天空の花に魅せられて～</td> <td>2,197人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>8/13~16</td> <td>能代にゆかりの日本画家展</td> <td>375人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2/26~3/1</td> <td>能代生まれの洋画家たち</td> <td>524人</td> </tr> </tbody> </table>		年度	区分		展示部門	舞台部門	H29	9団体 入場者数 8,571人	18団体 入場者数 806人	H28	11団体 入場者数 6,008人	19団体 入場者数 847人	H27	11団体 入場者数 6,123人	19団体 入場者数 748人	H26	10団体 入場者数 5,407人	17団体 入場者数 795人	H25	10団体 入場者数 3,603人	16団体 入場者数 760人	年度	期日	展示テーマ	入場者数	H29	10/25~30	平成29年度能代市所蔵絵画展	チラシ配布 76枚 芳名帳記帳 42組 土・日来場 48名	H28	12/3~11	このはなさくや～天空の花に魅せられて～	2,197人	H27	8/13~16	能代にゆかりの日本画家展	375人	H26	2/26~3/1	能代生まれの洋画家たち	524人
年度	区分																																									
	展示部門	舞台部門																																								
H29	9団体 入場者数 8,571人	18団体 入場者数 806人																																								
H28	11団体 入場者数 6,008人	19団体 入場者数 847人																																								
H27	11団体 入場者数 6,123人	19団体 入場者数 748人																																								
H26	10団体 入場者数 5,407人	17団体 入場者数 795人																																								
H25	10団体 入場者数 3,603人	16団体 入場者数 760人																																								
年度	期日	展示テーマ	入場者数																																							
H29	10/25~30	平成29年度能代市所蔵絵画展	チラシ配布 76枚 芳名帳記帳 42組 土・日来場 48名																																							
H28	12/3~11	このはなさくや～天空の花に魅せられて～	2,197人																																							
H27	8/13~16	能代にゆかりの日本画家展	375人																																							
H26	2/26~3/1	能代生まれの洋画家たち	524人																																							
点検・評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>目標を上回る      <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明] 文化月間の入場者数については、展示・舞台部門とも目標を上回った。 市所蔵絵画展は、二ツ井町庁舎エントランスホール、市民フロアで開催した。10/28メイン展示を行った画家・佐藤緋呂子氏も来場、終日在廊し大変満足されていた。</p>																																									

課題及び 今後の取組の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>能代市芸術文化協会と連携し、市民文化月間への参加団体の維持・拡大を図る。市所蔵絵画展は、テーマや周知方法を工夫して多くの市民に市ゆかりの美術品を見てもらうよう努める。また、各種助成事業等について、様々な団体が利活用できるよう周知に努め、地域の文化芸術の振興につなげていく。</p>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特に展示部門での入場者数が大きく伸びている。この傾向が維持されるよう、取り組みを継続してほしい。</li> <li>●文化月間の入場者数については、展示部門・舞台部門とも目標値を上回った。事前の市民への周知が適切であったことが、要因の一つと思う。</li> </ul>

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興			
施策項目	③ 文化芸術の振興			
方針・目標	市民の文化芸術の振興と福祉の増進を図るために、舞台芸術の上演や展示会等に広く開放し市民の文化芸術活動の奨励に努めるとともに、優れた文化芸術の鑑賞機会を提供します。			
事業・取組名	文化会館主催事業			
目標値	事業数及び入場者数の過去3年間の平均値との比較で、同等あるいは上回ること。			
前年度の意見と対応	<p>■引き続き市民芸術文化の振興、向上に向けて取り組んでほしい。  ⇒指定管理者と連携し、市民ニーズを反映した事業実施に取り組みます。</p> <p>■主催事業については、入場者数が過去3年間の平均値を上回り、目標を達成した。今後とも、市民ニーズに応じた事業の展開に努めてほしい。  ロビーコンサートは、利用団体及び個人の希望に、できるだけ応えられるよう、日程等の調整にあたってほしい。</p> <p>⇒引き続き指定管理者と連携し、アンケート等により把握したニーズを事業に反映させるとともに、利用者の利便性向上に努めます。</p>			
事務事業の実績	1 主催事業			
	No.	開催日	事業名	内容
	1	4/30	林修講演会	講演
	2	6/4	岡本知高ソプラニスタコンサート	クラシック
	3	7/7	May Jコンサート	ポップス
	4	8/30	松竹特別公演「牡丹灯籠」	芝居
	5	9/17	第13回みんなで歌うコンサート	市民参加型
	6	9/21,22	ペペットファンタジー「ムーミン谷の夏まつり」	人形劇
	7	12/3	第13回クリスマスこどもコンサート	市民参加型
	8	2/12	歌旅座コンサート	演歌
	9	3/4	第18回のしろクラシックコンサート	市民参加型
29年度合計				9回 7,281
26~28平均				7.3回 3,954
平均との比較				1.7回 3,327
2 ロビーコンサート（市民が参加発表し、無料で会場を提供）				
	No.	開催日	内容	入場者
	1	4/2	第95回 能代第二中学校吹奏楽部による演奏会	160
	2	4/23	第96回 吹奏楽団 FUNNY CREW による演奏会	110
	3	5/7	第97回 福司存成トランペットコンサート	120
	4	7/17	第98回 コカリナコンサート	100
	5	8/5	第99回 フルートデュオコンサート	120
	6	12/9	第100回 トランペットと歌の会館職員によるコンサート	250
	7	12/10	第101回 ソプラノとピアノコンサート	200
	8	12/17	第102回 ピアノ・コカリナ・マンドリンコンサート	150
	9	12/24	第103回 弦楽器とピアノコンサート	100
	10	3/11	第104回 トランペットコンサート	130
	11	3/21	第105回 能代第一中学校吹奏楽部	140

12	3/25	第 106 回	能代第二中学校吹奏楽部	130
13	12/9	第 107 回	能代工業高校吹奏楽部	100
			29 年度合計	13 回 1,810
			26~28 平均	7.3 回 797
			平均との比較	5.7 回 1,013

3 市民芸術文化祭（能代市芸術文化協会主催事業）※P.58 の表を一部再掲

区分	展示部門	舞台部門
H29	9 団体 入場者数 8,571 人	18 团体 入場者数 806 人
H28	11 团体 入場者数 6,008 人	19 团体 入場者数 847 人
H27	11 团体 入場者数 6,123 人	19 团体 入場者数 748 人
H26	10 团体 入場者数 5,407 人	17 团体 入場者数 795 人
H25	10 团体 入場者数 3,603 人	16 团体 入場者数 760 人
H26~28 平均	10.7 团体 入場者数 5,846 人	18.3 团体 入場者数 797 人
平均との比較	△1.7 团体 入場者数 2,725 人	△0.3 团体 入場者数 9 人

点検・評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり	<input type="checkbox"/> 目標をやや下回る
	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る		
[説明]			
<p>①主催事業は助成金を活用しクラシックコンサートを実施した。普及活動としてアーティストを小学校に派遣し芸術体験の機会を提供することができた。人形劇を小学校の芸術鑑賞教室とタイアップし3回公演で市内全児童が鑑賞できた。入場者数は対前年比2,787人増となった。</p> <p>②ロビーコンサートは、設備改修によるホール休止等の影響があったものの対前年比7回増1,150人増となった。気軽に施設を利用できる事業として幅広い年齢層の市民に喜ばれている。改修による休止は今後も考えられるため、日程等工夫しながら実施をしていきたい。</p>			
課題及び 今後の取組の方 向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討
	<input type="checkbox"/> その他( )		
[具体的な課題及び取組]			
市民ニーズを反映した事業を展開するため、引き続き入場者に対するアンケートを実施する。			
学識経験者の意見	<input type="checkbox"/> 入場者数が大きく伸びている。この傾向が維持できるよう、学校等と連携するなど、引き続き取り組んでほしい。		
	<input type="checkbox"/> ロビーコンサート等、市民が気軽に使用し集える取り組みは特に重要だと思う。		
<p>●主催事業については、入場者数が過去3年間の平均値よりも大幅に上回った。人形劇を小学校の芸術鑑賞教室とタイアップし、市内の全児童が鑑賞できたこともその一因と思う。今後とも市民のニーズに合った主催事業を目指してほしい。</p> <p>●ロビーコンサートについては、一時期ホールが使えなかったものの、回数、入場者数とともに、これまでを大きく上回った。今後とも可能な限り団体、個人の利用希望に応えていってほしい。</p>			

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
方針・目標	心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動の充実を図り、体力の向上を図ります。
事業・取組名	1 子どもの体力向上の推進 2 小中学校の体育等に関する活動の充実 3 子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実
目標値	体力の向上傾向を維持します。
前年度の意見と対応	<p>■様々な取組が行われており成果を挙げている。引き続き、学校、スポーツ少年団、スポーツクラブとの連携を図り、子どもの体力向上、健康づくりに努めていただきたい。  ⇒引き続き、学校や関係団体等との連携を図っていきます。</p> <p>■新体力テストにおいて、県平均よりも低い検査項目については、その項目の運動特性を把握し、学校と連携しながら向上に努めてほしい。  ⇒学校では、新体力テストの各種目における運動特性をしっかりと把握し、共通理解を深めました。  運動特性の向上につながる運動経験を、授業や休み時間の遊びの中に積極的に取り入れる工夫をしました。</p> <p>■自校に希望する種目の部活動がなかったり、部員数の不足からチームを組めなかったりした場合の対応が、これまで以上に求められる。当該校や当該生徒に対し、スポーツ少年団や受け皿となる学校を紹介するなど、何らかの支援にあたりたい。  ⇒引き続き、学校やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等との連携を図っていきます。</p>
事務事業の実績	<p>1 子どもの体力向上の推進</p> <p>関係団体と連携し運動の習慣化等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育協会（スポ少共催） スポーツ・医科学研修講座 「アクティブ・チャイルド・プログラム」</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ 幼児運動教室</li> <li>・市スポーツ少年団 S A Q トレーニング実技講習会</li> </ul> <p>2 小中学校の体育等に関する活動の充実</p> <p>①体育・保健体育学習の充実に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テスト結果分析を以降の学習指導に生かしている。</li> <li>・研修会へ参加し、体育・保健体育学習の充実を図っている。</li> <li>・休み時間等を活用した運動を実施している。</li> <li>・県の指導者派遣事業等を活用し、専門的な知識や技能を学んでいる。</li> </ul> <p>②中学校部活動の活性化を図るために、合同チームなどにより生徒のニーズに応じた運動部活動を推進している。</p> <p>③児童生徒の運動機会の拡充を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の歩行通学に関する調査結果を情報提供している。</li> <li>・学校訪問等で、体力の維持、向上を図るための指導や助言をしている。</li> </ul>

**3 子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実**

- ①スポーツ少年団活動の適切で円滑な運営を推進している。
  - ・組織強化のための支援や選手派遣費の支援を行っている。
- ②子どものスポーツ参加機会の充実を図っている。
  - ・中学校に希望種目の部活動がない競技については、学校と受け皿となるスポーツ少年団等との連携を図っている。
  - ・学校（主に小学校）と総合型地域スポーツクラブ（常盤小中学区、能代東中学区、二ツ井中学区、能代一・二中学区）との連携を図っている。

<b>点検・評価</b>	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり	<input type="checkbox"/> 目標をやや下回る
	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る		

【説明】

○新体力テスト体力合計点

◇男子

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
県H29	32.52	39.14	45.79	51.64	57.40	62.51	36.60	45.04	52.29
市H29	32.20	39.62	47.29	53.41	59.04	62.96	37.50	47.66	55.01
市H28	33.37	40.41	46.04	52.03	56.86	63.63	35.77	47.27	51.70
市比較	-1.17	-0.79	+1.25	+1.38	+2.18	-0.67	+1.73	+0.39	+3.31
県比較	-0.32	+0.48	+1.50	+1.77	+1.64	+0.45	+0.90	+2.62	+2.72

◇女子

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
県H29	33.24	40.68	47.86	53.79	59.65	64.29	47.04	51.98	54.91
市H29	33.35	44.31	49.32	54.79	61.19	65.81	47.41	53.78	59.89
市H28	35.17	42.49	47.52	57.21	60.87	65.33	46.41	54.39	55.63
市比較	-1.82	+1.82	+1.80	-2.42	+0.32	+0.48	+1.00	-0.61	+4.26
県比較	+0.11	+3.63	+1.46	+1.00	+1.54	+1.52	+0.37	+1.80	+4.98

【テスト結果の課題】

○小学生

- ①学年別に見ると、小1男女に県平均より低い項目が多く見られる。
- ②男女別、検査項目別に見ると、小5・6において女子より男子の方が県平均を下回っている項目が多い。
- ③全学年男女に共通して県平均を下回っている項目はないが、「50m走」に課題がある。合計点は小1男子を除いて県平均を上回っている。

○中学生

- ①合計点では、全ての学年男女で県平均を上回っている。
- ②学年毎に見ると、中1男女において県平均より低い検査項目が多く見られる。

課題及び 今後の取組の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 子どもの体力向上の推進 　幼稚期における運動遊びの習慣化の充実を図るため、関係団体と連携しながら情報提供に努める。</p> <p>2 小中学校の体育等に関する活動の充実 　児童生徒に運動習慣や健康的な生活習慣を身に付けさせるため、引き続き各事業の推進を図る。</p> <p>3 子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実 　スポーツ少年団等の連携強化による体力レベルの底上げを図るため、関係団体との情報交換を引き続き行う。</p>
学識経験者 の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○十分に様々な取り組みが行われ、成果を上げている。</li> <li>○大学アメフト部のように指導のあり方が問われているところなので、この点についても徹底していただくようにお願いしたい。</li> <li>○チーム学校の中で部活動指導員が制度化された。中学校教員の部活動指導の負担を減らすことも同時に取り組みをお願いしたい。</li> <li>●子どもの体力向上に向けて、これまで以上に学校をはじめ関係機関・団体と連携しながら、取り組んでいってほしい。</li> <li>●子どもにスポーツへの参加機会を提供するために、今後とも関係学校やスポーツ少年団と連携した取組をお願いしたい。</li> </ul>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
方針・目標	市民が、体力や年齢等に応じて、安全にスポーツに親しむことができるよう、スポーツへの参加を促進する機会や環境の整備を推進します。
事業・取組名	(1) 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 (2) 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 (3) 障がい者が生き生きと運動・スポーツに参加できる環境の整備 (4) 健康づくり運動の推進 (5) スポーツを支える組織の充実・連携やボランティアの育成 (6) スポーツにおける安全の確保
目標値	成人の週1回以上のスポーツ実施率が60%以上となることを目指します。
前年度の意見と対応	<p>■様々な取組が行われており成果を挙げている。今後とも、高齢者も、障がい者も、様々な人たちが世代を超えてスポーツに取り組み、健康づくりができるよう努めていただきたい。 ⇒スポーツ教室などのイベントのほか、大会の開催、競技団体への支援を進めています。</p> <p>■成人の週1回以上のスポーツ実施率は、目標値には届かなかったものの、前年度よりも高くなった。市民のニーズに対応したプログラムの提供やスポーツに参加できる環境の整備などが要因と思う。 ⇒チャレンジデー2017では、市民参加型イベントを増やし、PRするなど市民が気軽に参加できるよう工夫し、目標の参加率50%を達成し、勝利することができました。</p> <p>■青・壮年者や高齢者、障がい者が、スポーツを通して健康で明るく生き生きとした生活を送れるよう、各種のスポーツ教室や大会が開催されている。 ⇒引き続きニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫、利用しやすいスポーツ施設の運営等、各団体との連携を図っていきます。</p>
事業の績	<p>1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①関係団体と連携し子育て世代等の運動機会の確保に取り組んだ。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育協会 体験版！ファミリースポーツ教室</li> </ul> </li> <li>②チャレンジデーの際に各地域でできるスポーツ・運動を紹介した。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加型イベントの競技を増やした。</li> <li>・防災無線を活用しラジオ体操を放送した（二ツ井・常盤・桧山地域）。</li> </ul> </li> </ul> <p>2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体と連携し福祉と連動した健康づくり事業を展開している。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育協会 シルバースポーツの日（能代会場、二ツ井会場）</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ 各種講座、交流大会の開催</li> </ul> </li> </ul> <p>3 障がい者が生き生きと運動・スポーツに参加できる環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設指定管理者において障がい者用設備の維持管理に努めている。</li> <li>②市障がい者スポーツ・レクリエーション大会に協力している。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の派遣を行った。</li> </ul> </li> </ul> <p>4 健康づくり運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①チャレンジデー等のイベントを活用した運動機会の創出に努めている。           <ul style="list-style-type: none"> <li>今年5回目の参加で、参加率が44.2%から50.8%に増加した。</li> </ul> </li> </ul>

	<p>②のしろ歩け歩け大会を開催し、風の松原内のウォーキングを通じて健康づくりの意識を高めた。</p> <p><b>5 スポーツを支える組織の充実・連携やボランティアの育成</b></p> <p>①総合型地域スポーツクラブの普及・発展への支援を行っている。 市体育協会が中心となり、市中心部に新たな総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブのしろ」を設立、市はアドバイザーとして参画した。</p> <p>②市スポーツ推進委員の資質の向上と連携強化を図っている。        • 各種研修会等への参加（郡市、全県、東北、全国、女性）        • 主催事業等の実施        • 各種事業等への委員派遣</p> <p><b>6 スポーツにおける安全の確保</b></p> <p>①スポーツ施設等の安全対策の充実を図っている。        • 指定管理者の市体育協会と連携し各種点検、安全指導に努めた。</p> <p>②関係団体と連携しスポーツ医科学の普及を図った。        • 市体育協会主催で「スポーツ医科学研修講座」を実施した。        • 市スポーツ少年団においてSAQトレーニングの実技講習会を年2回開催した。</p>
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      ■目標をやや下回る  <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の週1回以上のスポーツ実施率（市民意識調査） 目標値にはまだ届かないものの前年度より、0.1ポイントの増となった。 29年度 50.4% (28年度 50.3%)</li> <li>・チャレンジデーは、参加率50.8%という結果となり前年を上回った。</li> <li>・市中心部の総合型地域スポーツクラブは市体育協会が立ち上げの中心となり市がアドバイザーとして参画、28年度からスタートした。 拠点施設（能代市総合体育馆）がありスタッフも充実していることから安定した運営が期待できる。</li> <li>・市スポーツ推進委員は多くの大会等（全県、東北、全国ほか）に参加し、先進事例の研修や他地域のスポーツ推進委員との情報交換を通じて資質向上を図ることができた。</li> </ul>
課題及び今後の取組の方針	<p><input type="checkbox"/>拡充      ■継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 継続事業は、各種教室や研修会等それぞれの団体において実施できている。 成人の週1回以上のスポーツ実施率が上がったことから、引き続きニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫、利用しやすいスポーツ施設の運営等、各団体との連携を図っていく。</li> <li>2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体等と連携し、各種事業の推進及び支援を図っていく。</li> <li>3 障がい者が生き生きと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体等と連携し、各種事業の推進及び支援を図っていく。</li> <li>4 健康づくり運動の推進 チャレンジデーは、スポーツや健康づくり、地域の絆づくりに効果的である。</li> </ol>

	<p>参加率も回数を重ねる毎に増加してきていることから、さらに各団体や地域と連携を深め、参加率の向上とスポーツの習慣化を図っていく。</p> <p>5 スポーツを支える組織の充実・連携やボランティアの育成 スポーツ環境を支えるボランティアスタッフの育成が急務であり、既存の能代カップやきみまちニッポンマラソンのボランティア及び各競技団体等への情報提供に努め、後継者の育成や資質の向上を図っていく。</p>
学識経験者の意見	<p>○様々な取り組みが行われ、成果があがっている。引き続き、市民の健康づくり、生きがいづくりに貢献できるように取り組んでほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●成人の週1回以上のスポーツ実施率がわずかではあるが前年度を上回った。今後とも市民のニーズに対応したプログラムの提供に努めてほしい。</li> <li>●チャレンジデーの際に、防災無線でラジオ体操の放送を流したことは効果的であった。地域や家庭に居ながら体を動かすことができた。</li> <li>●市体育協会が中心となって、市中心部に新たな総合型地域スポーツクラブを設立できたことは喜ばしいことであり、今後スポーツ支援の新たな拠点として期待される。</li> </ul>

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	③ スポーツを活用した地域の活性化
方針・目標	スポーツを通じた交流による、人々の一体感の醸成と活力ある地域社会の実現を目指します。
事業・取組名	1 スポーツを活用した地域づくり 2 スポーツによる交流人口の拡大 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進
目標値	スポーツを活用した、地域のにぎわい創出と大規模スポーツ大会の情報発信に取り組みます。
前年度の意見と対応	<p>■スポーツを地域経済の振興にも活用されており、今後も一層進めていただきたい。また、市民全体が支える意識を持つように、今後も情報発信やボランティアの確保・拡大などに取り組んでいただきたい。      ⇒きみまちニッポンマラソンなど、スポーツを通じた交流人口の拡大、地域経済の振興に結び付けられるよう事業を継続していきます。</p> <p>■「夢の教室」の開催は、子どもたちがトップアスリートや指導者から直接指導を受けることを通して、スポーツのすばらしさや夢に向かって努力する大切さを学ぶことができる貴重な機会となっている。今後も続けてほしい。      ⇒夢の教室については、児童・教職員から好評であった。今後も、このようなトップアスリートや指導者から直接指導を受けることができる貴重な機会の創出を図っていきます。</p> <p>■「バスケの街づくり」に向けて様々な取組が行われている。bリーグ秋田ノーザンハピネッツのホームゲームの開催や、車椅子バスケットボール男子日本代表の強化合宿などを通して、交流人口の拡大につながった。      ⇒今後も各種プロ公式戦の開催など、スポーツを通じた交流人口の拡大に繋がる事業を支援していきます。</p>
事務事業の実績	<p>1 スポーツを活用した地域づくり</p> <p>①子どもたちの夢と希望を育むスポーツ機会を創出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JFA主催の「夢の教室」開催。トップアスリートが実技や講義を行った。          11校実施 411名受講 講師8名（4種目）</li> </ul> <p>②関係団体と連携し、スポーツ合宿等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市体育協会に委託してバスケットのサマーリーグを招致した。（補助金）          合宿参加チーム 8チーム、206名（H28: 6チーム、198名）</li> </ul> <p>2 スポーツによる交流人口の拡大</p> <p>①関係団体、民間企業等と連携し、スポーツによる交流の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きみまちニッポンマラソン 1,788人参加（H28: 1,837人）</li> <li>・マラソンとあわせ地元企業等による物産フェア（きみまちの里フェスティバル）を開催した。観客数 11,723人（H28: 12,211人）</li> <li>・マラソンボランティアの育成が図られた。393人（H28: 413人）</li> <li>・全県大会以上の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 全国大会 4回</li> <li>イ 東北大会 9回</li> <li>ウ 全県大会 32回</li> </ul> </li> </ul> <p>②新たなスポーツの魅力の発掘及び開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度から市体育協会で新しいスポーツとして「バブルサッカー」の取組</li> </ul>

	<p>を始め、H29年度も引き続き「バブルサッカー」の参加者拡大など、普及を図った。</p> <p>③大規模なスポーツ大会・イベントと連動した観光誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代カップの際、バスケミュージアムで特別展やトークショーなど開催。</li> </ul> <p>3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進</p> <p>①本物のバスケに触れられる街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・bリーグ秋田ノーザンハピネッツ（プロバスケ）のホームゲームが開催された。</li> </ul> <p>②バスケで誰でも集える環境づくり</p> <p>③バスケによる地域経済の活性化</p> <p>④バスケがどこでも感じられる街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代カップ等への補助金の交付や、市教育長杯ミニバスケットボール等の事業を市体育協会に委託し継続した。</li> </ul> <p>※能代カップ入場者数：5,246人（H28 5,088人）</p> <p>・屋外バスケットリングの設置 市内公園・学校等 30箇所（H29末）</p>
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップアスリートや指導者に触れることにより、スポーツの素晴らしさや夢に向かって努力する大切さを学ぶことができた。</li> <li>・マラソンと物産フェアの合同開催により、スポーツを通じた交流人口の拡大が図られた。</li> <li>・各担当課、関係団体がこれまでどおり事業を継続し、概ね現状維持はできた。</li> </ul>
課題及び今後の取組の方針	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（　　）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツを活用した地域づくり           <p>関係団体等と連携し、各種事業の推進及び支援を図っていく。</p> </li> <li>2 スポーツによる交流人口の拡大           <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントは競技団体が主体となることが多いことから情報収集し、円滑な運営をしていくよう引き続きノウハウの蓄積に努める。</li> <li>・市民への情報発信の方法（広報、市ホームページ、SNS等）の検討について関係団体と連携し、媒体の選択も含め、効率的な伝え方を工夫していく。</li> </ul> </li> <li>3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進           <p>関係団体等と連携し、各種事業の推進及び支援を図っていく。</p> </li> </ol>
学識経験者の意見	<p>○スポーツが地域づくり、地域振興にも結びつけられていて、よい取り組みになっているので、是非継続してほしい。市民全体が参加する意識を持てるように、引き続き取り組んでほしい。</p> <p>●「夢の教室」の開催は、子どもたちがトップアスリートや指導者とのふれあいを通してスポーツのすばらしさや、夢の実現に向かって努力することの大切さを学ぶことができる貴重な場となっており、今後とも多くの子どもたちにそのような場を提供したいものである。</p> <p>●マラソンと物産フェアを合わせて行ったり、新たなスポーツとして「バブルサッカー」を発掘したり、能代カップの際に特別展やトークショーを開催したりするなど、スポーツによる交流人口の拡大に努めている。</p>

【生涯学習・スポーツ振興課】

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備
方針・目標	指導者や施設の充実等、市民が主体的に参画するスポーツ環境を整備します。
事業・取組名	1 地域のスポーツ指導者等の充実 2 スポーツ施設の充実 3 スポーツに関する表彰制度の整備 4 地域スポーツと関係団体との連携
目標値	スポーツ施設の指定管理者と連携し、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。
前年度の意見と対応	<p>■スポーツ指導者の研修等において、精神主義や服従ではなく、科学的・合理的な態度、人権尊重、安全確保などに引き続き努めていただきたい。財政的な問題はあるが、計画的に施設・設備等の更新・充実にあたっていただきたい。  ⇒スポーツ指導者の育成・指導能力の向上に引き続き努めています。</p> <p>施設の整備・改修にあたっては公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に行っていきます。</p> <p>■B &amp; G 体育館の防球ネットの設置や、土床体育館・落合第一球場・誠邦園球場の整備など、スポーツ施設の整備・改修が計画的に行われている。  ⇒施設の整備・改修にあたっては公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に行っていきます。</p> <p>■児童・生徒の表彰（能代市栄光賞、市体育協会スポーツ賞）は、子どもたちにとって、スポーツ・文化活動を続けるうえでの大きな励みになっている。今後とも継続してほしい。  ⇒児童・生徒への表彰を継続し、スポーツ・文化活動の充実に努めています。</p>
事務事業の実績	1 地域のスポーツ指導者等の充実 ①地域のスポーツ指導者の育成と活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市スポーツ推進委員会、市体育協会、市スポーツ少年団等研修会の開催や派遣を行った。</li> <li>・研修会参加等の支援を行った。</li> <li>・スポーツ少年団指導者資格数 43団体 357人 (H28 : 357人)</li> </ul> ②スポーツリーダーバンク等の整備・充実の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市スポーツ少年団の講師派遣型スポーツセミナーを実施した。</li> <li>・市体育協会スポーツリーダーバンク登録者数 40人</li> </ul> 2 スポーツ施設の充実 ①スポーツ施設の整備・改修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・能代市総合体育館に移動式バスケットゴールを設置した。</li> <li>・落合テニスコート改修工事実施設計を実施した。</li> <li>・能代市総合体育館改修工事を実施した。</li> <li>・のしろ風の松原マレットゴルフコースの整備を実施した。            (ねんりんピック会場)</li> <li>・風の松原陸上競技場の改修工事を行った。 (第3種公認更新)</li> </ul> ②学校体育施設等の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録スポーツクラブ制度により、学校体育館開放を継続して行った。            (渟西小、渟南小、四小、五小、向小)</li> </ul>

	<p>③利用者ニーズに対応した施設の管理運営と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者による定期点検など安全管理を行っている。</li> <li>・施設利用者アンケートの結果を反映して改善に努めた。</li> <li>・施設年間利用者数 308,317人 (H28: 322,946人)</li> </ul> <p>④自然環境や屋外施設を活用したスポーツと健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催 のしろ歩け歩け大会 (風の松原、風の松原陸上競技場)</li> <li>・市体育協会 マリンスポーツ事業 (米代川河口付近)</li> <li>・市体育協会 陸上競技クリニック事業 (風の松原陸上競技場)</li> <li>・市体育協会 サッカークリニック事業 (落合球技場)</li> </ul> <p>3 スポーツに関する表彰制度の整備</p> <p>児童・生徒の表彰(能代市栄光賞、市体育協会スポーツ賞)を継続して行った。</p> <p>4 地域スポーツと関係団体との連携</p> <p>①自治会等地域組織との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジデー周知の際、各種会合等でのPRや回覧板での周知依頼を継続した。</li> </ul> <p>②事業所におけるスポーツ活動の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジデーの参加協力依頼のため、従業員の多い企業へ訪問した。 また、チャレンジデー当日に店舗に職員を配置し集計作業を行った。</li> <li>・きみまちニッセイマラソンボランティアとして企業からの協力を得た。</li> </ul> <p>③医療機関等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のしろ健康21推進委員会や、のしろチャレンジデー実行委員会等に相互に役員枠を設け連携を継続した。</li> <li>・ミニ国体(柔道競技)の開催に際し、地元医師会や厚生医療センターから協力を得た。</li> </ul>
点検・評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る      <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり      <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備等により、利用者が、良好なコンディションで競技できる環境整備を図った。</li> <li>・体育施設の管理運営に関し、アンケート結果を反映して改善に努めることにより、利用者ニーズへの対応が図られた。</li> </ul>
課題及び 今後の取組の方 向性	<p><input type="checkbox"/>拡充      <input checked="" type="checkbox"/>継続      <input type="checkbox"/>廃止検討      <input type="checkbox"/>その他 ( )</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 地域のスポーツ指導者等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、そのための研修会や資格取得に関わる人材の発掘は必須であることから、各団体と連携し取り組んでいく。さらに、養成した指導者を効果的に活用するよう市体育協会のスポーツリーダーバンク等による指導者の派遣を行っていく。</li> </ul> <p>2 スポーツ施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な施設の維持管理を行う。</li> <li>・経年劣化している施設の整備について、計画的な修繕及び改修を行う。</li> <li>・体育施設の長寿命化計画策定を進める。</li> </ul> <p>3 スポーツに関する表彰制度の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界で活躍する選手に対する表彰制度の検討を引き続き行う。</li> </ul>

	<p>4 地域スポーツと関係団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツへの参加は、各地域や事業所において行われることが習慣化につながることから、各自治会や事業所で自主的にできる運動・スポーツを再発見するため、引き続き連携して取り組んでいく。</li> <li>・各種団体と連携が図れるよう、更なる情報交換の機会を設ける。</li> </ul>
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ指導者の質の向上、スポーツ施設等の整備・改修、表彰制度など、スポーツ環境の整備に向けて様々な取り組みが行われ、成果をあげている。この取り組みを継続してほしい。</li> <li>●スポーツ指導者の育成・指導能力の向上を図るために、引き続き研修会等を開催するとともに、スポーツリーダーバンク等の整備・充実に努めてほしい。</li> <li>●スポーツ施設の整備・改修が公共施設等総合管理計画に基づき計画的に行われている。今後とも各施設の劣化状況をつぶさに把握し、傷みが軽度のうちに修繕及び改修に努めてほしい。</li> <li>●能代市栄光賞、能代市体育協会スポーツ賞は、子どもたちにとって大きな自信と励みになっており、今後とも継続してほしい。</li> </ul>

### III 教育委員会の運営状況

#### (1) 教育委員会の開催状況

##### ① 開催状況

定例会 12回 臨時会 5回

##### ② 審議された案件等

年月日	区 分	番 号	件 名
H29. 4. 27	定例会	議案 第23号	教育長職務代理者の指定について
		議案 第24号	能代市学校医の委嘱について
		議案 第25号	能代市立小、中学校学校評議員の委嘱について
		議案 第26号	能代市学校運営協議会を設置する学校の指定について
		議案 第27号	能代市学校運営協議会委員の任命について
		議案 第28号	能代市教育支援委員会委員の任命について
		報告 第5号	能代市奨学金返還助成金交付要綱の制定について
		報告 第6号	能代市奨学選考委員会委員の委嘱について
H29. 5. 24	定例会	議案 第29号	能代市社会教育委員の委嘱について
		議案 第30号	能代市公民館運営審議会委員の任命について
		議案 第31号	能代市立図書館協議会委員の委嘱について
		議案 第32号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第33号	能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について
		協議 第9号	能代市二ツ井町歴史資料館条例の廃止について
		協議 第10号	能代市総合体育館改修工事（建築主体工事）の請負契約について
		協議 第11号	平成29年度能代市一般会計補正予算について
H29. 6. 29	定例会	議案 第34号	能代市二ツ井町歴史資料館の管理運営に関する規則の廃止について
		議案 第35号	能代市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		報告 第7号	能代市生涯学習推進協議会委員の委嘱について
		報告 第8号	能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
H29. 7. 28	定例会	報告 第9号	市長の専決処分に対する意見について
H29. 8. 2	臨時会	議案 第36号	平成30年度使用能代市立小学校「特別の教科 道徳」教科用図書の採択について
H29. 8. 24	定例会	議案 第37号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案 第38号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
		協議 第12号	平成29年度能代市一般会計補正予算について
H29. 9. 28	定例会		案件なし
H29. 10. 19	定例会	議案 第39号	小規模小学校の統合年度等について
H29. 11. 24	定例会	議案 第40号	能代市立常盤中学校の統合年度等について
		協議 第13号	能代市公民館条例の一部改正について
		協議 第14号	財産の無償譲渡について

年月日	区分	番号	件名
		協議 第15号	平成29年度能代市一般会計補正予算について
H29.12.8	臨時会	議案 第41号	平成29年度能代市立小学校教職員の人事異動について
H29.12.27	定例会	議案 第42号 報告 第10号 報告 第11号 報告 第12号	能代市就学援助費支給要綱の一部改正について 能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について 平成29年度能代市一般会計補正予算について 能代市青少年問題協議会委員の委嘱について
H30.1.23	定例会	議案 第1号	能代市個人演説会の設備の程度及び候補者が納付すべき費用の額に関する規則の一部改正について
H30.2.9	定例会	議案 第2号 協議 第1号 協議 第2号 協議 第3号	第3次能代市社会教育振興中期計画について 能代市立学校条例の一部改正について 平成29年度能代市一般会計補正予算について 平成30年度能代市一般会計予算について
H30.3.1	臨時会	議案 第3号	平成30年度能代市立小・中学校教職員の人事異動について
H30.3.26	定例会	議案 第4号 議案 第5号 議案 第6号 議案 第7号 議案 第8号 議案 第9号 議案 第10号 議案 第11号 議案 第12号 議案 第13号 議案 第14号 議案 第15号 議案 第16号 議案 第17号 報告 第1号 報告 第2号 報告 第3号	能代市立小中学校通学区域に関する規則等の一部改正について 能代市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について 能代市立小、中学校管理規則の一部改正について 能代市立常盤小学校及び常盤中学校地域連携施設等処務規程の一部改正について 能代市学校医の委嘱について 能代市教育相談員の委嘱について 能代市適応指導教室指導員の委嘱について 能代市心の教室相談員の委嘱について 能代市社会教育指導員の委嘱について 能代市子ども館館長の任命について 能代市子ども館指導員の委嘱について 能代市二ツ井公民館分館長及び主事補の委嘱について 能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について 平成30年度能代市学校教育指導の重点について 平成29年度能代市一般会計補正予算について 能代市教育等の振興に関する施策の大綱について 平成30年度生涯学習推進方針について
H30.3.27	臨時会	議案 第18号	平成30年度能代市教育委員会関係職員の人事異動について
H30.3.27	臨時会	議案 第19号 議案 第20号	能代市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について 平成30年度能代市教育委員会関係職員の人事異動について

(2) 教育委員の活動状況

年月日	行 事
H29. 5. 25	全県市町村教育委員会委員長・教育長会議（第1回）
H29. 6. 1	能代山本市町教育委員会連合会総会 第1回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会
H29. 6. 29	教科用図書採択研究会①
H29. 7. 12	// ②
H29. 7. 14	東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
H29. 7. 20	第2回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会
H29. 7. 28	教科用図書採択研究会③
H29. 7. 31	第3回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会
H29. 8. 2	教科用図書採択研究会④
H29. 8. 14	能代市成人式
H29. 9. 8	秋田県市町村教育委員会連合会および県都市教育長協議会合同研修会
H29. 9. 26	第72回国民体育大会（えひめ国体）出場選手壮行会
H29. 10. 7	小学生ふるさと学習交流会
H29. 10. 18	能代市教育長訪問（淳城南小学校）
H29. 10. 23	// （淳城西小学校）
H29. 10. 26	// （朴瀬小学校・能代東中学校）
H29. 10. 30	// （常盤小・中学校・能代第一中学校）
H29. 11. 2	// （二ツ井小学校・二ツ井中学校）
H29. 11. 9	// （竹生小学校・能代南中学校）
H29. 11. 13	// （第四小学校・能代第二中学校）
H29. 11. 16	// （第五小学校・浅内小学校）
H29. 11. 20	// （向能代小学校・崇徳小学校）
H29. 11. 21	// （鶴形小学校）
H29. 11. 28	// （東雲中学校）
H29. 12. 18	総合教育会議
H29. 12. 21	能代山本市町教育委員会連合会委員研修会
H30. 3. 11	市内中学校卒業式
H30. 3. 18	市内小学校卒業式

能代市教育委員会事務点検・評価報告書  
(29年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192  
能代市二ツ井町字上台1番地1  
(担当 教育総務課)  
電話 0185-73-2757  
FAX 0185-73-6459  
E-mail kyouiku@city.noshiro.lg.jp